

北京会議へ向けて IV



207号

今月の発信 | あこら新宿

中国の女性の状況 盧亜民

北京会議の準備状況 張 静

世界女性NGOフォーラムの意味 アイリーン・サンチャゴ

女性NGOフォーラム'95の準備状況 華福周



これが中国の公募で1位になり採用された作品です。
China のCを国際婦人年マークに組合わせたデザインです。

ほんとうに怖いのは――

斎藤千代

阪神大震災に続いて、衝撃的な報道が連日人びとをおびやかしている。松本サリンも地下鉄サリンも、まだ犯人が特定されたわけではないのに、ほとんどの人がオウムが犯人と信じこむようになった。関東大震災のあとの朝鮮人暴動説を思い出してまゆをひそめる人もいるが、「ほんとうにオウムなのか」という疑問を提示することさえ難しくなっている。

オウムが伝えられるような団体だとすれば、たしかにショッキングなことだが、平均年齢二五歳、一万人を越える若者が吸い寄せられたのは、まさに日本の病理を映し出している。若者たちをそこまで追い込んだことに責任を感じないで、傍観者、まして評論家に徹していいのだろうか。シャワーのように浴びせられる報道洪水の中で、私たちもいつのまにかマインドコントロールさせられている危険もある。情報のうずの中で、自分自身の目と心を正しく持ち続けることが、今ほど問われている時はないように思われる。

たとえば保護を名目に五三人の子どもたちを強制収容したのは最適の方法だったのだろうか。子どもたちが非人間的な状況に置かれていたのが真実なら、その状況を改善する方法は、児童心理学者などをまじえて十分に検討されるべきだったのでは、と思う。スポーツでもクーリングダウンはウォーミングアップ以上に重視される。「子どもの日」を喜々として迎えた、マスメディアは一斉に伝えたが、精神的外傷はほんとうにないのだろうか。「近頃は子どもたちに厳しく言い聞かせています。『毎日お風呂に入るのよ。きちんと勉強するのよ。おかずは残さず食べるのよ。でないと、子どもが危険な状態だと思われる、おまわりさんに突然連れて行かれるからね』と」――こんな手紙を受けとった。

ほんとうに怖いのはオウムだけだろうか。

目次

巻頭言 ほんとうに怖いのは…… 斎藤千代 1

北京会議NGOフォーラムの会場をめぐるつて あこら事務局 4

連続講座 北京会議への道Ⅳ

中国の女性の状況 盧亜民 8

北京会議の特性と準備状況 張 静 17

世界女性NGOフォーラムの紹介

女性の目を通して世界を見る

——世界女性NGOフォーラムの意味——

アイリーン・M・サンチャゴ 35

「女性NGOフォーラム北京'95」の準備状況について

華 福 周 56

集会から 国連女性の地位委員会報告会ほか 75

TOPICS 北京NGOフォーラムに三万五千人の参加申し込み 76

めじやーなりすとのめ 人が見えない人びと 依田明実 78

気になる英語 ダブル・バインド 奥川 睦 80

〔連載〕ペルーの女は立ち上がった 12

第四章 農業改革と村の女・山の女(3)

キャロル・アンドレス／訳サンディ・サカモト

82

統一地方選挙——女性候補者ががんばりました 92

あごらのあごら 93

北京会議のNGOフォーラム会場変更をめぐって

あこら事務局

NGOフォーラムの会場は、北京職工体育服務センターということで、昨年の八月には事務局の斎藤が会場を視察、「あこら」誌上でも再々詳しくお知らせしましたが、三月末、国連女性の地位委員会開催中のニューヨークで、突然会場の変更希望が中国側から国連のNGOフォーラム事務局に出され、一同驚愕しました。改築工事に着手したところ、老朽化していて危険と判断したというのがその理由でしたが、政府会議場から遠く、必要な設備も不十分な観光地に移すのはNGOに対する封じこめではないかとの説も出て、六四か国二〇〇〇人のNGO女性が反対署名を提出、日本国内でも諸説乱れとんで騒然となりました。

会場の収容人員が一七〇〇名と伝えられたことも、反発と混乱の大きな要素になりましたが、私どもが直接問い合わせたところ、北京側では非常に驚き、最大一七〇〇人が入るホールがあるという話が誤り伝えられたものだろうとの回答でした。

〈あこら〉では北京在住の人々に情報収集を依頼する一方、中華全国婦女聯合会の主席に連日電話とFAXで「突然の会場変更は国際的信用にもかかわる。改築費などの問題なら、改築費の支援カンパも惜しまない」と連絡しました。

現地からの情報では、全人代（中国の国会）で決定したので変更は無理だろうとのことでしたが、四月二三日―二十八日、ニューヨークから国連NGOフォーラム'95北京会議事務局長のアイリーン・M・サンチャゴさん（比）、フォーラム主催者のスパトラ・マスディットさん（タイ）、前大会事務局長のロザリン・ハリスさん（米）の三氏が視察に見え、現地のNGO職員

シルビア・オードンさん（比）も加わって、申し出のあつた北京市郊外の怀柔（ホアイロー 怀柔）のほか、二会場を仔細に検討しました。

北京側からは、

◇怀柔は、北京市の北にある景勝の地で、万里の長城地区（日本で言えば国立公園）の一環になつてゐる。北京国際空港から車で三十分、政府間会議が開かれる国際会議場からは車で四十五分、北には山々が連なり、南には平原が開け、一帯は緑に包まれて、水も空気がすがすがしい。慕田峪長城（万里の長城の一番の景勝地）や明の十三陵、雁栖湖・紅螺寺なども近い。

◇会議室は一千人以上が三室、二百人以上が九室、百人以上が六室、五十人以上が五十三室、合計七十一室あるので、一万人近くの同時開催が可能である。

◇体育センターに準備した三十一のテントと二百十五のあずまや、千本のパラソルは、そのまま怀柔に移設するので、文化活動、各種展示、手工芸品の展示即売なども、ここで活発に交流できる。またビジネスセンター、報道センター、救急センター、郵便局、通信設備、保育所、宗教活動の場合などは、これから建築して完備する。

◇宿泊施設としては、現在、二つ星以上のホテル・旅館が三十六（二千七百室）あるが、さらに六か所に住宅団地を増築するので、合計五千五百室、約一万人の宿泊が可能である。

◇ホテルの宿泊代は一室（二人）五〇—八〇ドル、団地は二五—六〇ドル。

という情報を私どもは受けましたが、会場を視察したサンチャゴさんたちは、

◇怀柔は、市内から五五キロの距離にあり、パトカーを先導して走つても五十分かつた。

◇怀柔は、いわば一つの村で、村の中に会議室とテントが六キロ四方にわたつて散在しており、会議開催地としては不適當。合計九千四百三十人しか入れない。

◇大ホールは千七百人収容の映画館が一つあるだけで、全体の意見を総括する大会議場はない。

◇周辺のホテルは一万六千人分しかない。

◇報道用などの通信設備が全くない。

◇障害者が利用できる施設がない。

という理由で、不適當と判断しました。

訪中団は怀柔のほか、政府会議場に隣接するオリンピック・スポーツセンターを視察し、二万席のスタジアムと六〇ヘクタールのスペースがあるので、開会式をスタジアムで、ワークショップなどは仮設集會室やテントで行えないかと提案しましたが、中国政府は、開会式は可能だが、他の日はすでに予約済みなので不可能と回答しました。

また、市内の北京レクリエーション・センターも視察し、二千人のホールを、政府會議へのロビー活動に、国連の資格認定を受けたNGOが使うことを要望、これは受容されました。

訪中団は、以上の訪中結果を、ニューヨークの女性NGOフォーラム・ファシリテーター・グ・コミッティに報告しました。この報告書を受けとった世界各国十九人の委員が、検討した結果、怀柔を拒否、四万人（NGOと報道関係）の参加のニーズに合った会場を五月二四日までに確保するよう中国政府に要求しました。また十五人の委員は、従来の会場かオリンピックスタジアムの提供を中国政府に要求することをスパトフ・マスティットさんに委嘱しました。

*

以上の報告を受けた各国のNGOは、条件に合う会場を中国政府が提供するよう、世界中で強硬に抗議する共同行動をとることになりました。国連から正式に中国政府に要請してもらうためには、各国政府が国連事務総長に要望するとともに、各国政府が中国政府に申し入れることが必要です。私たちは、他の国内NGOとともに、日本政府に上記二項の行動をさっそく開始するよう、五月十日、村山首相と河野外相に要望書を提出しました。

各国のNGOが最も強く憂慮しているのは、さまざまな問題をかかえている中国政府がNGOの自由な活動を恐れてそれを制限するために会場を移そうとしているのではないかという点です。このことは、全世界のNGOの共通意思としてあくまで主張しなければなりません。私たちが現地から入手した情報では、会場変更については、中国政府に公表できない大きな理由（汚職問題など）があり、中国が受け入れるのは非常に難しいように思われます。この間にも時間はどんどん失われていきます。日本のNGOフォーラム参加者や企業に呼びかけて募金をし、新会場に各国語の同時通訳つきの会議場や情報センターを建築する代わりに、NGOフォーラムを完全な解放区とすることを要求するといった、現実的な解決をはかることも検討してはどうかと思っています。あらゆる方法を講じて、アジアで初めての世界女性会議を何とか成功させたいと願います。

（この問題が発生した時は印刷がほぼ終わっていましたが、サンチャゴさん、華さん、張さんの会場についてのご説明は、そのままにしました。）



中国の女性の状況

盧 亜民（ル アミン）

（中華全国婦女聯合会国際連絡部副処長）

司会（白井博子）

きょうは遠い中国から張静さんと盧亜民さんをお招きしました。お二人は中国の全国婦女聯合会の国際連絡部の役職に就いておられ、北京会議の中枢をになつて活躍中の方です。お二人とも北京外国語大学で三年間日本語を学ばれた後、張さんは一年間、東京学芸大学で日本文化を学び、盧さんもつくば大学に一年間留学なさつてますので、非常に日本語がお上手です。私たちよりきれいな日本語をお話しになります。

きょうは来年の北京会議に向けて張さんたちが取り組んでおられる準備状況や、中国の女性の状況などについて、まず盧さんからお話しいただきたいと思ひます。

*

皆さん今晚は。ただ今ご紹介いただいた盧亜民です。日本語を長く勉強はいたしました、外国語ということ、十分に意思を現せないかもしれませんが、ご諒承ください。

ご存じのように中国にもたくさん女性のNGO団体がありまして、中華婦女聯合会やジャーナリスト協会、弁護士協会、労働組合女性委員会などいろいろあります。江ノ島の東アジア女性フォーラムには中国から十四人が、それぞれの中国のNGO団体からの代表として、参加

しました。

日本に来ていろいろ感じたことがあります。まず非常に感じたことは、日本では女性問題が各方面から関心を持たれていることです。人口問題や環境問題、いろいろな問題が女性問題と深い関わりがあり、女性問題として取り上げられていることがしみじみとわかりました。

中国と日本は、一つは先進国であり、一つは発展途上国で、それぞれ状況が違いますが、女性問題もいろいろ違うところがあると思います。日本で我々が非常に羨ましく思っていることは、女性のための施設が多くて勉強の場が多いということです。しかし政治参加の割合とか、社会参加についてはまだ日本女性は男性に及ばないことも伺ってわかりました。私の友達にも日本で勉強したり働いている人がいまして、きのうも一人会いました。彼女の話によると、日本の女性のための職業紹介所に行きましたら、女性の選択できる職業はほとんど一般事務で、彼女も非常に不満を持っていました。多分日本では女性は女性なりに、女性のやらなければならぬ仕事をやるのはあたりまえだと思われるかもしれませんが、中国とちよつと違ふと思いました。

確かに中国では女性の社会参加は、改革・開放政策を実行以来、非常に進歩してきました。しかし、中国の大きな問題は女性の文化資質がまだまだ低いことです。人口の八割が農村にありまして、たくさん女性が教育をうける機会に恵まれておりません。女性の非識字者も多いです。中国にとつてまず何よりも女性の文化資質を高めることが課題であり、政府からもNGOからいろいろな事がなされています。

きょうは張さんが、皆さんの関心の高い北京会議の準備状況についてお話しする予定ですの

で、私は、中国女性の一般状況と私と張さんの勤めている全国婦女聯合会について簡単にご紹介したいと思います。

国政にも地方政治にも女性が進出

まず中国の女性の政治参加について御紹介します。具体的数値を申し上げますと、中国の最高権力機構は全国人民代表大会（全人代）といい、日本の国会に当たります。その代表、つまり国会議員には、女性が六二六名おりまして、全体の二一・〇三パーセントを占めています。世界の十一位くらいかと思っています。副首相クラスが女性が四名、大臣クラスが三名、次官、副大臣は十四名おります。これはナイロビ将来戦略が実行された一九八五年に比べますと、一・四パーセント上昇しています。

県の知事と副知事にあたります省長と副省長が十七名おりまして、これも八五年に比べて七・二六パーセント上昇しています。全国では五一七の都市があります。女性の市長、副市長は三〇八名おります。全体から見ると女性の管理職は増えましたが、男性と比べるとまだまだ少ないと思います。女性の政策決定への参加の割合を増やすために、婦女聯合会としては二〇〇〇年までに一〇〇パーセントの県（日本の郡に当たります）、五〇パーセントの郷と村に、必ず一人の女性の指導者がいることを要求しまして、政府からも二〇〇〇年までに必ずそのようなように承諾をもらいました。

現在中国ではナショナルマシナリー、国家の女性機構を、ナイロビ将来戦略の後、いろいろ

なNGO団体から強く要求しまして、国としてはすでに「国務院婦人児童工作委员会」ができました。これは初めてできた政府の女性と子どもに関する機関になります。

それから全国人民代表大会の内務司法委員会、これは国会の中の一つの機構になりますが、婦人児童専門組があります。また一九九〇年に国務院婦人児童工作委员会を設立しました。これも国家の作った機構になります。しかし中国はいろいろな条件に阻まれて、国としての男女別の統計やデータベースが足りない状況にあります。これは女性問題を研究するためにも活動するためにも困ることとして、ぜひ二〇〇〇年まで国として力を入れてほしいと、強く要求しております。

法律は中国では憲法やいろいろな法律におきまして、女性と男性と同じ権利を持つことを制定されていますが、それだけでは足りないと思ひまして、一九九二年に初めて女性のための専門の法律が採択されました。その名前は「中国婦人権益保障法」といいます。しかし法律はできましたが、まだ中国は情報が早く届かないところがありまして、一般にまだ知られていないため、その宣伝をするために婦女聯合会でもいろいろな仕事をしました。例えば「婦人法宣伝月間」とか、「婦人法に関する知識のコンテスト」等の活動をやりまして、一般の人に知られるように頑張っております。

中国は国土が広くて人口が非常に多いために、日本からは非常に高速発展していると思われるかもしれませんが、貧困な地域、貧しい人がまだまだ多く、全体はまだアンバランス、発展の度合いが地域によって偏つていると思います。

識字率を上げることが緊急課題

一九八五年に、貧困人口は一億二千五百万人でした。貧困者の中の六〇パーセントが女性と子どもです。それに対しては政府からも援助がありますが、婦女聯合会や科学技術協会などのNGO団体からも文化と技術訓練援助のプロジェクトをやっております。非識字者も中国ではまだ多く、それをなくす活動にも力を入れてきました。今、識字クラスを終えた女性は非常に多くて、二〇〇〇年までに少なくとも青壮年の非識字者はなくそうと努力しております。驚くべき数字ですが、一九四九年、新しい中国ができた当時の女性の非識字者の割合は九〇パーセントでした。数十年間の努力が実つて、現在は三二パーセントまで減りました。しかし、これについての任務は大きくて、今後ともいろいろな形でやっていかなくてはと思います。

女性の就職状況ですが、就職の仕方が今は昔と違ひまして、都市の就職者は女性が多く、三八パーセントくらいが女性です。農村でも改革開放政策を実行して以来、農業だけでなく、工業を始めるところが増えました。農村の郷鎮企業の数が増えまして、四千万人にもものぼる女性が郷鎮企業で働いています。労働人口の多い中国では一九九二年の失業率は二・三パーセントで、失業率も女性より高くなっています。もちろんいろいろな原因がありまして、一つは女性が育児・家事をやらなくてはいいけません。また文化資質が男性と比べてまだ低いので、労働者を募集するときに男性がほしいという企業が増えまして、そういうことをなくすように政府に訴えたり、民間で活動をしています。

広汎な代表制と社会性を持つ婦女聯合会

婦女聯合会のことですが、正式には「中華全国婦女聯合会」という名前です。これは中国で一番大きい女性団体です。最初に出来たのは一九四九年の四月でした。中国が解放される前に女性がグループを作つて解放を求めて大変な努力をしました。その後、全国的な団体に変わりました。全国の各民族、各分野の女性たちが一層の解放を求めて連合した大衆団体ということで、広汎な代表制と大衆性と社会性を持っています。その趣旨は女性の利益を代表し、男女平等を促進することです。中国では知らない人はいないというくらい大きな団体になりました。任務は大きく五つの面にわけられまして、一つは全国の女性を團結動員して、中国の近代化建設に参加させ、經濟發展と社会の全面的進歩を促進させることです。

二つ目は広汎な女性を導いて、自尊・自信・自立・自彊、この四自の精神を以て資質を高め、女性全体の成長を促進することです。このためにいろいろな活動をやつてきました。この四自を提唱したのがうちの婦女聯合会で、都市でも農村でも四自の精神で頑張らなくてはならないと提唱しております。

三つ目は、女性を代表して国家と社会業務の民主管理と民主監督に参加し、女性と児童に関する法規・条例の制定に参加し、女性と子どもの合法的な権利と利益を守ることです。政府がいろいろな法律を制定するときに必ず私たちがいろいろな意見を訴えるのです。やはり女性団体として、女性の利益、子どもの利益を十分反映させなければと、いろいろな形で政府に交渉

してきました。それからもう一つの大きな任務は女性と子どもに奉仕することです。社会各界との連携を強め、女性と子どものために実益のある良いことをするように呼びかけております。具体的にやっていることは、中退した女子児童の再入学を援助する春蕾計画をやっております。詳しくいいますと、中国の農村ではまだ学校に入れない子ども、学校に入っても途中で中退する女の子が非常に多いのです。その子たちを援助するために、資金を出して義務教育が終わるまで学校に行かせるという計画ですが、婦女聯合の会長さんは一人で八人の子どもの援助しています。

もう一つの大きな任務は、各民族、各分野の女性の団結を強化拡大し、香港、マカオ、台湾地区の女性、及び華僑女性との友情を強め、祖国の統一事業を促進することです。また積極的に世界各国の女性と友好往来を發展させ、相互理解と友好を深め、世界の平和を守ることです。婦女聯合会は世界の百三十か国の三百以上の女性団体、政府の女性機構と友好関係を持つております。特に日本との交流が非常に多いです。毎年たくさんの方の女性団体の友人を中国に迎えたり、また中国婦人代表団を作つて訪日したりして交流を深めています。

婦女聯合会は全国組織としての全国婦女聯合会がありまして、その下に行政区画に応じて婦女聯合会があります。一番末端の村や郷まで婦女聯合会があります。だから末端組織は八十一万もあることになります。専従者もいれば、兼職者もいます。

資金の一部は国からもらう補助金です。会そのものも雑誌社や新聞社を經營して一部分が運動資金になります。社会の各方面から寄付もいただいて活動をしています。

十の目標を策定した婦人代表大会

最高権力機構は婦人代表大会、これは五年に一回開かれます。最近は一九九三年でした。その時に中国の女性のこれからの目標を十くらい立てました。それについて紹介したいと思います。会議で立てた目標は、ナイロビ将来戦略の平等・開発・平和の総目標に基づいて決めたものです。堅苦しい言葉になるかもしれませんが、読ませていただきます。

一、文明的・進歩的な女性観を広汎に宣伝し、国民全体の女性の権利に対する認識を高め、全社会が女性の権益を保障するためによい環境を作るよう推し進めること。

二、各種類の女性人材の成長を大いに促進すること。女性の経済・政治決定への参画、科学技術分野における人数を増やすこと。県クラス以上の党と政府の指導メンバーに女性がいることを基本的に実現する。これは先程も申しましたように、二〇〇〇年までに県クラスも郷クラスも必ず女性のリーダーが入るように努力しています。

三、各クラスの学校における女性の入学の割合を高め、都市と農村女性の職業・技能教育及び実用技術訓練を發展させること。適齢女性の入学を保証し、女子児童の中途を抑制すること。また青壮年女性の非識字者を基本的になくすこと。やはり教育問題が女性にとつて非常に大切なことで、まず女性の小さい頃からサポートして、女性青壮年の非識字者をなくすことです。これを重点的にやっております。

四、次に女性の就職分野を拡大させること。人類自身が生産することの社会的価値を確認し、

出産保障の体制を確立し整えることを求めています。

五、女性労働者の労働保護についての規定を真剣に貫徹、実行していくことです。また非常に家事の負担が多いので、コミュニティサービスを発展させ、託児所、幼稚園事業を推し進め、家事労働の社会化を推進すること、男女ともに家事労働を分担し、子どもを育てることを提唱しています。

六、貧困地域の女性を援助して、生活条件を改善し、経済発展に寄与する有効な方法を探し求めること。貧困援助のプロジェクトを開発したり、企業を創立したりして、貧困地域の女性の衣食問題を確実に解決することも、重要な目標の一つです。

七、女性の衛生知識を普及し、女性と子どもの保健事業を発展させること。妊産婦の死亡率を下げ、農村で新しい分娩方法を指導すること、女性と生存と開発の環境を改善すること。

八、子どもと青少年の健全な育成を促進すること。子どもと女性の訓練、活動する場所を建設すること。

九、女性の計画出産する権利を守ること。

十、女性に対する暴力を処罰すること。

これが私たちが去年の全国婦人代表大会で提出した二〇〇〇年までの十大目標です。今これに基づきまして、各界の婦女聯合会がいろいろな活動をやっております。

来年北京で世界女性会議が開かれますが、これが開かれることによって中国でも全社会で女性問題に対する関心が高まっています。世界女性会議が中国で開かれることは中国女性の進歩に対して役に立つのではないかと思います。私たちは世界女性会議を通じまして、中国の女性に世

界のことをわからせ、世界に中国のことをわからせることが私たちの主な願いです。ありがとうございます。（拍手）

北京会議の特性と準備状況

張 静（ジイアン チン）

（中華全国婦女聯合会国際連絡部副部長）

盧さんからいろいろ話がありましたので、私の話がダブるところがあるかもしれませんが、なるべく簡単にわかりやすく誤解されないようお話しいたします。

北京会議について、国連からも日本の新聞からもへあごろからいろいろな案内があつたと思いますが、いま中国がどのように準備しているかについて詳しく申し上げます。

準備体制

中国は一九九二年一月に正式に国連婦人地位委員会に申し込みを出し、同年三月に、国連の第三十六回婦人地位委員会の会議で決められまして、正式にホスト国になりました。

同じ年の八月に中国の第四回世界女性会議準備委員会が作られました。準備委員会は五つの

委員会に分かれています。最高責任者は中国の副首相に当たります。彭珮雲さんが担当しています。副主席は五名おりまして、外務省の次官、北京市の副市長二人、一人は男性で一人は女性ですが、もう一人は國務院の秘書長、もう一人はうちの婦女聯合会の副首席の黃啓璪女士が入っています。

組織委員会の委員は三十七の政府部門、あるいはNGO団体からなっております。具体的に申しますと、一つは大会委員会です。これは政府間會議の担当をしております。リーダーの窓口は外交部です。

続きまして、宣伝動員委員会、マスコミとか新聞・雑誌、広報用のポスターを作るとかなどの準備をしています。中国の婦人の現状とか、少数民族の状況とかの展示会も持ちたいとさまざまな準備をしています。

三番目は行政財務委員会、窓口は北京市政府、日本流にいうと東京都庁ですね。というのは北京で開催することになりますので、北京市としては今度の會議、政府間會議と民間會議の両方の宿泊、交通、観光、会場、施設など全部担当しています。

四番目はNGOフォーラム委員会。ここは主にニューヨーク本部との連絡に関するすべてのことを担当する窓口です。このリーダーは中華全國婦女聯合会です。中国には女性のNGOは一つしかないのですかと聞かれますが、たくさんあります。中国ではNGOは大衆団体と呼ばれています。そういう団体を設立する場合は国の民政部に登録しなければなりません。現在、民政部に登録している団体は千五百余りありまして、その中には中華全國婦女聯合会、全國労働組合女性労働者委員会、首都女性ジャーナリスト協会、女性科学技術者協会などの大きな団

体があります。NGO委員会の中国国内担当、中華全国婦女聯合会は、二十余りの全国的女性NGO団体と一緒にやるわけです。

五番目は安全警備委員会です。安全と警備に関するすべての事を担当しますが、窓口は国の公安部です。

中国にとつて今回は素晴らしい機会で、大変重視しています。盧さんが言ったように中国の女性のはりきつて準備に取りかかっています。準備にはホスト国としての準備、参加国としての準備の両方がありますので、まず国内の準備についてお話しします。

北京会議を機に、中国女性の地位向上を

一つには九五年までに目標を立てることです。例えばすべての県の管理職の中にならず一人女性を入れていただくこと、また九五年までに五百万人の非識字者をなくすこと、というようなささまざまな目標があるわけです。せつかくのこのような機会に、中国国内でもっと中国の女性の地位を高める動きを作ろうという意気込みです。具体的な方法としては、農家の女性のための識字クラスを作ったり、技術と文化を教えたり、そのような方法を通じて女性の社会参加を促すことです。

もう一つは大いにナイロビ将来戦略を宣伝することです。今までもいろいろなことをやってきましたが、今回は北京で、ナイロビ将来戦略の成果を評価する会議を開きますから、中国の女性たち、特に草の根の女性たち一人ひとりに、ナイロビ将来戦略とはどんなものなのか、な

ぜ世界の女性がこういうものを作る必要があるのか、目標は何であるのかと、いろいろな知識を教えながらトレーニングをやります。それによつて参加の意欲を引き出すわけです。そのような活動の中で婦女聯合会はさまざまな活動をやっているわけです。

もう一つはNGOフォーラムを担当する委員会を窓口とする具体的な準備にとりかかるわけです。NGOフォーラム委員会の中にたくさん部門が作られました。私が担当しているのは受付登録部です。皆さんが北京に着いてからの、入場のネームカードとか受付の仕事をしています。また、NGOフォーラム組織部は主に中国国内の女性たちにどのように参加させるか、人数の配置、ワークショップのテーマなどさまざまな案を考えたり、国連と連絡を取ったりしています。全部で八つくらいの部門が設けられてますが、ここでは一々あげませんが、婦女聯合会は職員を出して、ほかのNGO団体の方と一緒に準備に取りかかっています。

斎藤 ここで張さんに一つお願いがあります。先日の東アジア女性フォーラムや、ご案内した、福岡とか鳥取とかでの張さんのお話は非常に皆の心にしみとおりました。皆をすごく感動させるお話をなさいましたので、ぜひその話をしていただきたいと思います。張さんが、「個人的な話は今までにしなかったんだけど」とおっしゃりながらしてくださった話を、ここでもしてくださいませんか。

張 私が東アジア女性フォーラムで出た分科会は「戦争と平和」でしたが、日本側の実行委員が非常に努力しているなことをしてくださいました。国のレベルでは、東アジアにもさま

さまざまな難しい問題がありますが、政治制度を乗り越えて、女性問題について東アジアの女性たちが一緒に集まって話すのは非常に素晴らしいと、皆そう思つて中国からも十四名参りました。「女性と開発」「女性と人権」「女性と文化」「女性と戦争と平和」「女性と政治」と五つのテーマで話し合いましたが、私は私が参加した「女性と戦争と平和」に関して私なりの感想をここで皆さんと率直に話したいと思います。

実はこういうことを話し出すと皆さんに辛い思いをさせることになる、遠慮していましたが、やはり率直にいうことが皆さんから理解いただけることになると勧められました。NGOの団体だから個人的な考えを率直に話し合うことが、平和に役にたつのではないと思ひまして、とうとう話しました。きょう、ここでも皆さんをわざと悲しませるために話すのではなく、平和のために話すのだということをご理解いただきたいと思います。

ここで皆さんと日本語でお話しできることは、何よりも私の父に感謝しなければならぬことです。この話は七年前に日本に留学したとき、日中友好協会の方々にもお話ししましたが、今回もそれについて話す必要があるということはどういうことかと考えさせられます。

私が北京の大学の入試に合格して「日本語を勉強しなさい」と言われたとき、すごく父から反対されました。私はなぜかわからなかったのです。結局母親から聞いたのですが、うちの父の父、つまりおじいさんが日本兵に殺されていたのです。それで父は「どこの国の言葉を勉強してもいいが日本語だけは絶対に学ばな」と、強硬に反対しました。瀋陽のような地方の高校から北京の外国語大学に入るのは大変難しいことでしたので、母校の先生方は、父の反対で私

が入学できなくなることを惜しましました。何人もの先生が自宅まで来てくださり、最後には校長先生までが我が家を訪れて、「今までそういう悲しいことがあつたからこそ、これから再びそういうことが起きないようにする人材が必要だ」と何回も父を説得して、やつと許可してもらえました。そのおかげで日本語の勉強を始めたわけですが、大学を卒業して婦女聯合会に入りまして、日本女性との交流の窓口の仕事で、さまざまな日本人をお迎えしました。

私も戦後生まれで、戦争を知らなかったのが父親の気持ちからわからなかったのです。学校教育を受けて「中国はさんざん侵略された。戦争でやられた」と知りました。また周りの人も戦争で殺されたとか、映画でも展覧会でもよく昔のことをやっていて、だんだんわかつてきました。

同時に中国のことだけでなく、日本もどのように原爆でやられたかというようなことも学んだわけです。ですから戦争というものは、どの国にとつても災いだという考えを持っています。しかし、中国と日本の間で今までのことについてお互いどう考えているのかについては、考えなかつたのです。ただ親の気持ち、親と同じ世代の人の気持ちの中では、やはり今まで侵略されたことをまだまだ忘れていません。まだ日本人と仲良くしましょうというまでにはなっていないですね。それが実情です。

でもこれから戦争を起こさないようにしよう、お互いに歴史の悲しいことを繰り返さないようにと、日中友好の仕事に携わりましたが、一番感じることは、一つは日本人がみんな、昔のこと、つまり日本が中国を侵略したことを知らないことを知ってびっくりしました。でも私たちの尊敬する周恩来総理が言われたように、「日本人をお迎えするときに、向こうから戦争の

ことを話しかけられない限り、こちらから絶対口を出さないこと、もし聞かれたときは「それは今の日本人の責任ではなく、昔の一握りの軍国主義者の責任だ」と言つたほうがお互いの理解ができる」と教えられたことを守つてきました。

おじいさんも多くの人も、戦争であれだけやられたと言つていても、皆さんをお迎えするときは、中国人は、にこにこしてというか、こちらから戦争のことは言わなかったのです。もしスケジュールに日本側から特別に昔の戦争の、万人坑、平頂山、南京大虐殺の現場に行くというようなことを望まれない限り、絶対にこちらからわざわざ見せるということはないわけですね。

そういう中でやつてきましたが、あまりにも皆さん戦争のことはおつしやらなかったですね。日本の侵略について見たいとか、歴史について知りたいとか言う方は、すごく少なかったのです。そういう中で一つの男性の訪中団をお迎えしました。瀋陽、北京、大連、長春からハルピンまで行く予定の訪中団の一人が瀋陽（昔の奉天）で汽車から降りてすぐひざまずいて、頭を地につけて泣き始めたのです。「どちらが北ですか」と私に訊いて、私が「多分こちらです」と言うと、その人は北を向いて泣いて泣き続けました。私はどういふことがわからなかったのです。隣にいた人が「彼は北で中国人を殺した。今謝罪に来たのだ」といわれて私もショックを受けたのです。当時の日本の兵隊さんが、あんなに昔のことに對して謝罪の気持ちと、自分がだまされたことを悔しがついているところを初めて見ました。私も何ともいえない気持ちでした。

なるほど日本の方も、戦争のときに中国を侵略するというより、自分の国を愛してほかの国

を助けるというような教育を受けて、結局だまされて侵略にいったのではないかと思つたのです。同じように女性たちも、自分の夫、子どもたちを戦場に送ること自体、侵略だとは思わなかつたですね。その代わり、日本の女性も、夫の死後、一生懸命働いて子どもを育てたり、大変苦労したと、後でわかつたわけです。とすると戦争というもので、中国人だけでなく日本人もけつこうやられた。——平和がどれだけ大事なことかとしみじみ感じました。

私はこのような日本人の謝罪の気持ち、うちの父によく伝えたりしました。父も今まで知らなかつたことを私が言つたのでやつと理解しました。日本人一人ひとりの責任ではなく、お互いにだまされたのだ、天皇孝行のつもりで戦つたのだらうと、やつと言つてくれるようになりました。そして私の仕事に対して理解もでき、やはり日本語を勉強してよかつたというふうについてくれるようになりました。

私も忙しいもので、息子が一人いますが母親として合格ではなく、いつも出張で親によく留守番してもらつたものです。この前、一年間日本で勉強したときも、単身赴任の形で一年間うちを空けてきたのですが、親は一生懸命に協力してくれました。もし本当に日本の方に対する理解がなければできないことですね。でもこのような考え方を持つている人は父だけでなく、中国ではだんだん増えているのです。

私も七年前に日中友好協会全国婦人委員会のカンパで、日本の学芸大学に留学することができました。そのとき各地をいろいろ回つて、三十三県くらい回つたのです。北は北海道のノサツプ岬から、南の沖縄の戦争記念館、三つ四つの平和展示会も見まして、もちろん広島も何回も行きました。

その時一番感じたことは、こんなに平和教育をしながら、なぜ昔の戦争、中国を侵略したとか、アジアを侵略したことに關する一枚の写真もない、一つの言葉もないのか。私は少し怒ったのです。中国ではあんなにみんなに教えているのに、加害国と被害国の両方の立場から戦争を教えているのに、どうして日本は事実を教えていないのかと不満でした。

東アジアフォーラムでも、「戦争と平和」の分科会に参加した国は、韓国、日本、中国で、香港、マカオ、台灣地域からも代表がいましたが、私のいただいたテーマは「女性と戦争と平和」です。しかしこの分科会ではテーマを絞ったわけです。私の準備したレポートは平和、つまりもつと広い意味での平和でしたが、そこで発表したら、みんなのテーマと少しずれてしまった感じがしました。というのはこの分科会では、主に従軍慰安婦の問題が非常に大きなテーマとして話されたわけです。もう一つはどうすれば平和を維持する構造をつくれるかという問題でしたが、でも従軍慰安婦の問題が非常に問題になったのです。

そのことについて韓国から、ぜひ日本政府が責任を取って一人ひとりに補償をもらいたいという活動の署名とカンパの紙が出されたのです。そこで私は日本と韓国の方に聞かれたのです。「中国では従軍慰安婦の問題について調べましたか」と。「女性団体としてはやっていません」と率直に答えたのです。すると「なぜやらないのか、中国政府は慰安婦の人権を尊重していないではないか」と、すぐ人権問題になっちゃったのです。

私は政府がやっていないのは確かだ、女性団体もやっていないようだ。私個人の考えとしては平和問題というのは従軍慰安婦の問題だけではない、もつと広い意味での平和運動です。中国では貧困人口がまだ八千万人もいるのに、八千万人のことを考えないで従軍慰安婦のことだ

けを考えたら、国の事情を考えたら、どちらを先にするのか。それは自由ですけれど、やはりこちらの立場も理解していただきたいと説明したのです。まず貧困女性を助けることが中国最大の問題だと思うのです。その人たちを助けなければ、もつと数多くの人たちの人権尊重ができませんと考えるのです。

従軍慰安婦の調査をしていないことは、その人たちの人権を尊重していないということではないと思います。つまりもつと平和活動に力を入れることが、どの人にとっても最大の人権活動だと思います。私はそういうふうに言ったのです。

実は韓国の方から、分科会の前の日に「ぜひ協力してください」と内輪の相談を受けたわけです。私たちは絶対こういうことで日本政府に圧力をかけようと、慰安婦一人ひとりに何万ドルとか補償金をもらうようにしたいと私に言ったのです。

私は戦争でやられたことは女性にとつて不幸なことだと思います。ただ戦争でやられたのは慰安婦だけでなく、もつと多くの女性がいたのです。私が中国で見た写真で、当時の日本兵が中国女性の脚の肉を使って餃子を作った写真を見たことがあるのです。私はこんなに残酷なことは、慰安婦だけでなく、すべての女性にとつて、母親にとつて、子どもにとつて、男性にとつても戦争は惨めだった、と思います。

ただ侵略した国として賠償はすべきだと思います。言われたときに賠償するのではなく、自らすすんで賠償すると言うべきだと思います。そのことについて女性の目から見て、日本政府がもつとはつきりと戦争責任を持つことは、日本の国民にとつても、アジア、世界にとつてもいいことだと思います。

でもお金をもらうことですべてが解決するわけではありません。日中国交回復のとき、中国は日中共同声明の中の平和条約の中で、戦争賠償金を放棄することをはっきりと書きました。実ははっきりと書いたことに中国国内でもいろいろな考えを持つている人が多いのです。「なぜ放棄するのか。日本はあんなに進んでいるのに。そして中国はあんなにやられたのに」「へり下って日本の鼻息をうかがうことではないか」という意見もあつたのです。庶民もそうです、特に戦争でやられた人はすごく不満を持つたのです。

でもそれについてどう教えられたかという点、「戦争の賠償金をもらうことは当たり前だが、お金の問題だろうか。つまりお金を一回もらつても日本が戦争をもう起こさないという保証はない。日本は本当に歴史の事実に関して責任を持つ意識はあるのか。それはお金より大切な問題だ」と周恩来総理は言われました。そして「例えば賠償金をもらうとすると、それはどこから出るか知っていますか。それは今の日本人一人ひとりの税金から出るのではないか。昔の軍国主義者のことで現在の日本の労働者に負担をかけることはいいことなのか。お金を一回払っていたら、日本の人は中国の人をどう見るのか。中国だけでなく、お金があるからこれからはかの国にやつていいのか」といろいろ教えられて、考えさせられました。そして政府の態度、賠償金を辞退することに対して理解してきました。

今度もそうですが、従軍慰安婦の賠償金について、私はサインもしなかつたですが、もらいたい人がいればもらつてもいい、国によつて事情も違うから、個人によつて見方が違うからと私は思っています。ここで私が主張したのは、お金だけ見るのではなく、高い立場で、長い目で、もっと広い意味での平和運動に力をいれてはどうかと、一生懸命提案しました。日本の

方々から暖かい拍手をいただきましたけど、韓国の方からどれだけご理解いただけたかちよつとわからないですね。

分科会の後で、NHKのインタビューを受けました。韓国をはじめ、あちこちから賠償金のことが出ているのに、なぜ中国はそうしないのかと。私は国の事情が違うし、中国の現在の女性問題は、まだその問題一本に絞ることにはならないとお答えしました。インタビューでは申しませんでした。中国ではもつとひどいことがたくさんありましたから、慰安婦の賠償を言い出すと収拾がつかなくなるのです。このへんの事情を、もつと数多くの日本人にも韓国の方にも理解していただきたいと思います。

実はこのようなことがありました。多分ご存じだと思いますが、一九八四年に、中国政府は中華青年聯合会の名前で、日本から三千人の青年を招待しました。そのとき私と盧さんは通訳として、日本婦人会議について歩きました。実はその三千人を招待することに国内でもいろいろ意見があつたのです。中国は現在でもまだ日本に追いついていませんが、十年前の中国は経済的に遅れていて、国民の一人ひとりには国の借金を負っているのです。それなのに国賓を招待するように、日本の若い人を招待したのですから。

でも日本の若い人は、もちろん真面目な人もたくさんいましたが、なぜ中国が招待するのか、その深い意味がわからなかつたようです。みんな遊んで良かつたですね。あちこちで国賓のようになつて喜んでいたようですが、当時の中国人の実情はわからなかつたようです。豊かになつてもいないのに、あんなに大金を出して招待する意味がわからなかつたのです。

でも私たちも、若い人に中国と仲良くなつてもらうことが、これからの平和のためだと教え

られたので、一生懸命やつてあげたのですが、その三千人の中の若い人は、ワイワイと歌ったり遊んだりだけで喜んで帰ったような気がします。

三千人の訪中団の中で、戦争の痕跡を訪ねたいといったグループはごく少なかったのです。二、三の団体だけでした。でも私が案内した日本婦人会議は、ぜひ南京大虐殺の跡に連れて行ってくださいといつて、私たちも初めてそこに行きました。その時はまだ記念館ができていなかった時です。荒れ地に行つて、その人がシャベルで半分ほど掘ったところで裏返して見ると、白骨だらけでした。私たちも続けて通訳することもできませんでした。みんな涙ぼろぼろで声も出ませんでした。そのグループは若い女性が多く、みんな非常に悲しくて、赤い旗を持つていたので、みんなの名前をサインして真ん中に再び戦争を起こさないと書き、その旗を握つて誓つたのです。我々の先輩の殺した中国人の白骨の上に立つて、これからの平和を誓いますと。私たちも感激しました。

もし若い人たちがここまで理解できたら、何といいことかと考えさせられました。

ご清聴ありがとうございます。(拍手)

斎藤 張さんと盧さんを遠い北京からはるばるお迎えしました。毎日ひどいハードスケジュールで、正直言つてもう話すより寝たいとおっしゃっているお二人を、今日もここまでお連れしました。それはこの話を聞いていただき良かったです。

私どものところに北京会議のノウハウを教えてくださいという話がたくさん来ますが、登録はどうするか、どうすればうまくワークショップを開けるかという質問が多いことにつかり

します。私たちが一番知らなければならぬのは、これまで日本人が何をしたのかということです。これを学習しないで、どうして何のかんばせあつて北京に行けるでしょう。

私たちは日本政府にさんざん要求しています。戦後五十年の記念日までに戦後清算のために何をするのかと。慰安婦の補償を含め、戦争責任決議と戦後補償を実現させないで北京に行けば、私たち市民運動は何をしてきたのかということになります。それと同じくらい私たち一人ひとりがどれだけ戦争を自分の胸に刻んでいるかが問われます。このことなしに会議場をうろついても、それは恥をまき散らすだけで、それなら行かないほうがいいとさえ私は思っています。

〈あごろ〉としては、いろいろ観光コースがありますが、万人坑とか、七三一部隊跡とか、南京とか、私たちの犯した罪の跡をこの目で見ることを絶対にコースに組み入れる予定です。百聞一見に如かずです。

今日は貴重なお話を聞かせていただきましたが、張さんがおっしゃったように、戦争の罪をつぐなうのはお金を出すことだけではないのですね。私は東アジア女性フォーラムの「戦争と平和」の分科会の責任者を自ら買つて出たのですが、これは、日本の女性たちに、本当に戦争そして戦争責任のことを考えてもらいたかったからです。「戦争と平和」には二つのパートを設けました。第一が「戦争責任と戦後補償」で、特に「日本軍慰安婦」問題にポイントを置きましたが、私は第一にもまして、第二の「不戦の構造」、戦争を二度としない構造をどうして作るかに全精力を傾けました。しかし非常に残念なことに、従軍慰安婦のほうにはたくさんの方が集まりましたが、この「不戦の構造」のほうにはその半分も集まりませんでした。準備段

階でも多様に意見が分かれて、何でそんなことをやるのかという人まであり、東アジア女性フォーラムの本番までこぎ着けるのは本当に大変でした。

でも張さんに会って、私が五十年間考え続けてきたことと同じことを考えている人に巡り会って、私たちの最大の謝罪は二度と戦争を起こさない構造をつくることだという確信をますます深めました。人権無視、差別こそ戦争の構造です。政府がやらないなら私たちが子供に歴史の事実を教え、ふたたびあやまちをおかさないよう教育する、職場の差別をなくす。毎日実行できることは山ほどあると思います。それをやつて私たちはじめて北京に行く資格を得られるのではないかと思います。

司会 質疑応答の時間がなくなりましたので、どうしてもという方だけいくつか受け付けます。

Q 東アジア女性フォーラムに参加しまして、また今日参加して、いいお話を聞かせていただいたと思います。私の両親は沖縄で、本土の犠牲になった人々の霊がまだ弔われていないという映画を作っているのですが、費用の点でできない状態です。また私の子どもが障害児なので日本がいかに福祉にお金をかけていないかよくわかります。いろいろな階層の人がそれぞれの悩みを抱えているのだなと思いました。女性の悩みというのは国連から庶民まで一致したものがあつて驚きました。心を合わせて北京に行けたらと思います。

質問ですが、会場のことで、フィルムやビデオの上映、演劇などができるのかお聞きしたいと思います。

張 分科会の会場にはビデオとかテレビとかOHPとか、基本的な施設があります。申込用紙に書いてください。プログラムができたときにわかると思います。プログラムどおりに配置することになっています。

斎藤 分科会会場の体育館には屋根が付いています。真ん中の丸いところが映画などの上映の場所になると思いますが、小部屋でもビデオなどの上映ができるはずです。分科会開催申請書（一九九号に添付）の「必要な設備」という欄に書いて、申し込めばいいと思います。

張 分科会の会場にそれぞれビデオとテレビとOHPがあります。内容に合ったビデオはそこで放映することができます。

斎藤 ただビデオの形式が違いますね。PALという形式になってまして、日本では変換するところがなかなかありません。うつかりすると三十万円もとられますが、安くできるところもあるようです。日本のビデオカセットを持って行っても使えませんが、それはご注意ください。たつたほうがいいと思います。スライドは世界のどこでも同じです。

さつき張さんが早く申込みをとおしやいましたが、私はいつも旅行社の方に苦言を呈しているのですが、旅行社の方は「旅行社を通して早く申込みを」とおっしゃってますが、そうではないのです。だれでも個人でニューヨークに申し込めばすぐに登録してもらえます。取り消すときは半額戻ってきますがこれも期限がありまして、それを過ぎると全額がだめになります。

だから旅行社がまとめて人数だけで何十人分と申し込むことはできないのですね。それぞれ個人の顔写真と五十ドル添えて申し込む。本当に志のある方が申し込んで、はじめて後の仕事が始まるわけです。

今日のお話に関連のある計画を組もうとするなら、私たちが自発的にどんな旅を作ろうかと考えたときに一番いいコースが考えられると思います。

Q ある旅行社の人から、五十ドル送るのに送料としてまた五十ドルくらいかかる、だからまとめて送った方がいいと聞いたのですが、どうなのでしょう。

斎藤 円をドルに替えるのに若干手数料がかかりますが、そんなにかかるといふのは全く事実と違います。郵便局に持って行けば千円以内で送れます。私たちはどんなふうに書いていいのかわからないという初心者のためには、英語の文章の書き方からお手伝いして、為替代や郵便料まで含めて、二千元と申し上げています。私どもは基本的にはなるべく自分で申込用紙を書くことによつて、北京が、国連が、自分に近づくだろうと思つていますし、それが旅の第一歩だと考えています。多少スペルが間違つても向こうの人は読めますから、不完全であつても自分で書くところから始めるといいと思います。他力本願をしないで、せめてそのくらいのこととをしないと、現実の会場でまごつくことになります。英語の展示がたくさんありますが、せっかくいい情報があつても、受けとめないで帰る方がたくさんあります。中学一年の力で書けますから、ご自分でおやりになるのがいいと思います。

飛行機の航空券だけは、今いくつかのところに聞いていますが、確かにまとめて行くほうが安くなりますから、私どもでも航空券のお世話まではしようと考えています。

いくつかの旅のプランを立てますので、ご案内は差し上げたいと思いますが、それぞれの人が自立・自信・自尊・自強の気持ちで、一人ひとりが参加するのがNGOです。その精神を守られるように、準備のときから練習されるのが重要だと思います。

盧 来年北京でお待ちしております。私たちのできるところは頑張りますので、安心していらつしやってください。(拍手)

斎藤 この北京会議の費用はどうなるのかと伺ったところ、これは国連から出るのではなく、ホスト国の負担なのだそうです。中国の経済は目覚ましく進んでいます、日本の一万円は向こうの八百元です。これは日本の物価で考えると二十万円くらいの値打ちにあたるのではと思います。中国の勤労者の月収は二百元から千元くらいですが、三百元もあれば普通の暮らしができます。そういう中で開かれる北京会議です。だから少しでもホスト国のお手伝いができるように、カンパしたいと思っています。現地でもスタッフが不足すると思いますので、少しでもお手伝いして、さすがアジアの、中国の会議だということを、中日双方の共同の喜びとできるようにしたいと思います。

張さん、盧さん、ほんとうにありがとうございました。また北京でお会いしましょう。(拍手)

女性の目を通して世界を見る

——世界女性NGOフォーラムの意味——

アイリーン・M・サンチャゴ

(女性NOGフォーラム北京事務局長)

幅広い活動を続けるNGO

まず初めに、NGOについてお話しします。

女性にいろいろな人がいるのと同じように、NGOもすべてが同じ性質を持っているというものではありません。さまざまなタイプの女性がいるように、NGOにもさまざまなタイプがあるのです。NGOの活動の場には、地域、国、世界というレベルがあります。NGOは健康に関する活動、所得を生み出すためのプログラム、老人の世話などのサービスを提供しています。また、調査や分析を行ったり、情報の伝達やネットワークづくりに関わったり、政策の指示や監視をするNGOもあります。

このように、NGOはサービスから政策まで、すべての分野で活動を展開しています。NGOは市民社会を機能させるために人々が行動していることの表れだと言えます。実際、市民社会がNGOなしに機能することは非常に困難です。社会におけるNGOの役割を認識することが重要だというのはこのためです。また、NGOとしての自主性を尊重することも重要です。

国連もNGOに広く門戸を開放

国連について言えば、一九四九年以来、国連会議にはすべて政府とは無関係のフォーラムが併設されています。これは、国連の会議で議論されている問題に対して、NGOが意見を表明する機会を得るようになるための措置です。また、国連がその活動におけるNGOの重要性を認識していることの表れでもあります。一九四九年から最近まで、NGOが国連とつながりを持つためには、経済社会理事会（ECOSOC）の公認を得なければなりませんでした。当時公認を受けているNGOは、ソント、国際女性協議会、BPPW（インターナショナル・ビジネス・プロフェッショナル・ウイメン）、ガール・ガイドといった国際的なNGOが大部分でした。しかし、一九九二年に画期的な変化が起きました。国連環境開発会議の事務局長が、経済社会理事会の公認を得ていないNGOが会議に参加することを認めたのです。つまり、それまで、NGOは経済社会理事会による公認がなければ国連に参加することはできませんでした。が、リオで開催された環境会議では、この理事会の公認を得ていないNGOも参加することが可能になったのです。

とくに有益な女性の参加

この変化をきっかけに、以前は国連の政府間会議への参加が認められなかったNGOにも道が開かれました。このようなNGOの専門能力、知識、経験は、リオでの環境会議の準備にお

いて非常に重要な役割を果たしました。これらのNGOは、環境問題の解決方法を検討する上で、真の意味で政府のパートナーとなりました。

リオでの会議に続いて、一九九三年にウィーンで開催された世界人権会議、そしてカイロで開催された九四年の国連人口開発会議では、NGO、特に女性のNGOが非常に大きな働きをしました。たとえばウィーンでは、女性のNGOが書類作成に関わることができたため、女性の権利が人権として認識されるようになりました。そして、皆さんももちろんご存じのはずですが、カイロでは、あらゆる種類の人口政策において、女性の地位向上が成功のカギを握っているとの認識を高める上で、女性のNGOによるロビー活動が非常に大きな成果をあげました。このことから、国連に対するNGOの影響力が高まり、国連もNGOの協力が必要であると認識していることがわかります。

NGOが国連に参加しなければならない理由

では、なぜこのプロセスが非常に重要なのでしょうか？ その理由は、私たちが民主主義を理解し、実践しようとする中で、世界中の人々が国連の方針についてその説明を求めるからです。日本では、近年の発展の過程で人々は政府からの説明を望んできました。これと同じように、NGOは国連からの説明を求めているのです。私はいつも言っているのですが、国連憲章には「われわれ国連に参加の各国政府は」と書かれているのではなく、「われわれ国連傘下の各国民は」と書かれています。NGOが国連に参加しなければならない理由はここにあります。

なぜなら、NGOは庶民を代表しているからです。

この点については、日本政府は非常に注目すべき存在です。一九五七年以来、国連総会第三委員会に、日本政府は常にNGOを公式代表団の一員に加えています。このため、政府とNGOの間にパートナーとしての関係ができています。私たちは、役割は違っていますが、同じゴールに向かって進んでいるのです。

初めてアジアで開かれる北京会議

来年、北京で開かれる女性NGOフォーラムとはどのようなものなのでしょうか？ 私はこれを、イベントであると同時にプロセスであると捉えています。このフォーラムは、一九九五年八月三〇日から九月八日まで開催されます。私たちは、約二万五千人の女性と、おそらく何人かの男性が北京に集まると考えています。「何人かの男性」と申し上げましたが、これは女性による活動の内部での理解が高まってきているため、私たちが何かを変えようとするのであれば、両性の問題に敏感な男性の参加が必要だからです。

北京でのフォーラムは、私たちの住むアジアで開催される、女性問題に関する最初の世界会議であるという点でも重要な意味を持っています。また、NGOフォーラムではタイ人のスパトラ・マステイットさんとフィリピン人の私が代表を務めています。私たちは二人ともアジアの出身です。つまり、私たちは、北京での会議はアジアの会議とも言えると考えています。

どの地域の準備会議でもNGOフォーラムを併設

先ほど、これはイベントであると同時にプロセスであると申し上げましたが、次はプロセスの部分についてお話ししたいと思います。この会議の準備のため、五か所で地域会議が行われます。この五つの地域とは、アジア・太平洋、南アメリカとカリブ諸国、ヨーロッパと北アメリカ、アフリカ、西アジアです。それぞれの地域会議では、地域のNGOフォーラムも開催されます。皆さんはご存じないかと思いますが、国連の地域会議が開かれるすべての場所で、同時に地域のNGOフォーラムが行われるのは、歴史上まさに初めてのことなのです。

では、なぜこのことが重要なのでしょうか？ これは、それぞれの地域の女性に、地域会議で発言する機会が与えられるからです。世界中の女性がいくつかの共通する問題を抱えているとしても、これらの問題がどのように現れるのか、そして女性がこれをどのように捉えるのかは、その地域の発展の状況によって異なります。たとえば、私はこれまでにマニラ（アジア・太平洋地域）、アルゼンチン（南アメリカとカリブ諸国）、最近ではウィーン（北アメリカとヨーロッパ）でNGOフォーラムに出席して、仕事、雇用、健康といった問題はどの地域にも共通していますが、問題の現れ方には非常に大きな違いがあるということを知りました。

また、このような地域レベルにそれぞれのプロセスがあるということは、地域のリーダーシップが生まれることにつながります。以前、世界的なNGOフォーラムしか開かれていなかった時には、ほとんどの場合、国際的なNGOがリーダーシップをとり、国際的なNGOのリーダーシップは、ほとんどの場合、西側諸国から出ていました。しかし、現在は地域のフォーラムが

あることにより、アフリカ、南アメリカ、アジア・太平洋、カリブ諸国のリーダーも、西側諸国のリーダーと同じだけの発言力とリーダーシップを持つようになっていきます。

行動綱領にも影響を与えるNGO

このように、NGOフォーラムの目的は二つあります。

ひとつは、国連が来年、北京で採択する予定の行動綱領に影響を与えることです。行動綱領は、非常に重要な意味を持っています。ナイロビ会議の後、加盟国政府は、いまだに残っている障害と、これを解消するためにとるべき行動を重視しています。NGOのこれらの会議への参加が増えているのは、このため、つまり、このような政府に対するロビー活動をするためです。

第二の目標は、女性活動を強化することです。先ほど申し上げたように、地域レベルの準備を行ない、五つの地域でNGOの活動グループを組織するというプロセスは、世界的な女性活動の強化につながります。

女性の目から世界を見よう

これまで、私は世界中でさまざまな女性運動に関わっている多くの人々と話をしてきました。このような人々が、北京で開かれるNGOフォーラムに対して何を期待しているかと尋ねると、

二一世紀に向けた何らかの行動計画が作られることを望んでいる、との答が返ってきます。このようなフォーラムに出席すると、ひとつのワークショップから別のワークショップへと回って、まるでワークショップのスパーマーケットに入ったかようになります。健康に関するものからメディアに関するものへ、そしてこれが気に入らなければまたどこか別のところへ、これでは大きなスパーマーケットと同じです。女性たちはこう言います。「私たちは、二万五千人の仲間が北京に集まるという機会を無駄にしたくありません。これは女性の歴史上、最大の会議であり、女性によるこのような集まりとしては、今世紀最後のものなのです。世界について議論することはたくさんあるため、私たちはこの機会を活かしたいのです」と。

東アジア女性フォーラムで申し上げたとおり、この会議は冷戦の影のない最初の会議です。確かなことが何もないため、すべてのことが可能なのです。環境、人権、人口、雇用、平和など、多くの課題に直面する中で、女性たちは二一世紀の世界がどのようなものになるのかについて、発言する場を求めています。つまり、女性たちはいわゆる女性問題を議論するために北京へ行くのではなく、世界的な問題に関する女性の展望を議論したいと考えているのです。女性NGOフォーラムに大きな期待が寄せられるのはこの点で、ここでは「公正で、健全で、健康的な将来の世界とはどのようなものであるのか」を定義することができのです。しかし、将来を展望し、二一世紀に対するビジョンを構築することのほかに、女性たちはもう一度お互いの意見を交換することを求めています。私たちは、メディアを利用したキャンペーンを行う際に、誰もが使うことのできるテーマを選びました。そのテーマとは、「女性の目から世界を見よう」というものです。平和に関する活動をしている人は、「女性の目から平和を見よう」

とすることができます。また、政府や政治に関係している人は、「女性の目から政府や政策を見よう」と言うことができます。

皆さんは国連でゲームをすることを想像できるでしょうか？ たとえば、安全保障理事会がボスニアについて議論しているというゲームです。女性の目からボスニアを見たら、国連の安全保障理事会はどのような決定をするでしょうか。それぞれ問題に合わせて、皆さんがこのテーマをどのように使うか、メディア・キャンペーンでどのように活かしていくかは、皆さんの創造性にお任せします。

私の話を聞いて、皆さんが女性NGOフォーラムとは、今世紀の女性と男性にとって大きな意味を持つものになるのだという印象を持ってくだされば幸いです。女性の苦しみは、彼女たちだけの苦しみではなく、世界中のすべての男性、すべての女性、すべての子供の苦しみなのです。最後に、皆さんの正当な願いとエネルギーでNGOフォーラムを支えると同時に、皆さんの国の政府に対して私への支援を訴えてくださるようお願いします。

〔質疑応答〕

Q1 このようなフォーラムに男性をより多く参加させるための有効な方法があったら教えてください。

二〇年ほど前、私たちはフィリピンを中心にプロジェクトを始めました。現在、全国で三〇件ほどのプロジェクトが実施されています。プロジェクトが成功しているのは、私たちが子供

たちを通じて彼らの親と話をすると同時に、コミュニティの人々や全国の人々と接してきたからだとは考えています。私たちは互いに、現実の状況について知る必要があります。現状を知らなければ、フィリピンの本当の姿を理解することはできません。これは非常に良いプロジェクトだったと思います。コミュニティ単位のプロジェクトでは、男性の参加がなければどのような目標も達成することはできないと私は考えています。ですから、私たちは子供たちとその母親を出発点としてプロジェクトを始めたのです。そしてこの数年、徐々にではありますが、彼女たちの夫に対してプロジェクトに参加するよう働きかけ、現在では非常に大きな成果があがっています。たとえば、人口問題です。

実際に、男性と対話をしているグループもあります。たとえば、バハイ・インターナショナルは、世界中で男性と女性が対話するための機会を設けています。このため、私はこのグループが、北京でのフォーラムに男性と一緒に参加するのではないかと思っています。また、私たちは一五歳から三〇歳の若い女性がフォーラムに参加するよう望んでいて、若い人々に対して強く働きかけているため、今では若い男性が参加している会議もいくつかあります。このように、より多くの男性の参加を促すための行動がとられています。現在の人数はわかりませんが、男性も参加します。

Q2 私が住んでいる奈良にはまだフォーラムに参加して発言できるNGOがありませんが、有志が傍聴参加することは可能ですか？

アクセスできるのかと聞いているのですか？ 質問の意味がわからないのですが。つまり、

ワークショップに関係なく北京に行き、参加することはできるのか、という質問ですか？ わかりました。それは可能です。全員がワークショップを実施する必要はありません。二万五千件のワークショップなんて、想像できますか？ 私のところには常に、会議に参加して論文を発表したい、という要望が寄せられます。これに対して私は、このような会議では、参加者は自分が出席したいワークショップや討論会を選択するのだということを説明します。このため、あなたが開こうとするワークショップは、人々に参加したいと思わせる魅力的なものでなければなりません。魅力のある内容でなければ、あなたがワークショップを開くと通知しても、二、三人しか来てくれないでしょう。つまり、そこには非常に厳しい競争があることを覚悟しなければならぬのです。多くの人がさまざまなイベントを行ないます。ですから、私はたくさん、グループが協力して、共同ワークショップを開くことを勧めています。例をあげれば、日本、韓国、セネガル、エクアドルが協力してひとつのワークショップを開催すれば、たとえばコンビアにある小さな村や都市から来た一人の人によるワークショップよりずっと多くの人が参加するでしょう。たった一人でやるワークショップなど、それが本当に大きな魅力を持っていない限り誰も来てはくれません。おわかりになりますか？ 参加者として北京に行き、そこで学んでネットワークを作ってください。

ひとつ申し上げたいことがあるのですが、いくつかの日本の旅行会社が私たちに電話をかけてきて、非常に多くの日本の女性が北京に行きたがっていると言っています。私はこのような旅行会社に対して、その女性たちは日本でNGOや女性の問題に関わっているのですか、それともあなた方はただその女性たちに旅行をさせたいだけなのですか、と尋ねるのです。もしそ

うならば、旅行は他の時期にしようお願いします。世界中でNGOや女性の問題に関わっている、とても多くの女性が北京に来ることを望んでいる中で、宿泊場所の収容能力は二万人分しかありません。このベッドを、ただ旅行したいというだけの人たちのために占領するのはやめてください。いいですか？ 私たちは、この問題に関わってきた女性にベッドを提供しなければならぬのです。私が旅行会社に対して言いたいのはこのことです。どれほど多くの日本の旅行会社が私に電話をかけてきたのかを知られば、わかっていただけることと思います。

Q3 北京でワークショップを行ないたい。また、中日合同のワークショップも考えていますが、参加申請はどのようにすればよいのか、具体的に教えてください。

活動したいというすべての要請について、私たちは同じ問題を取り上げてワークショップや討論会の開催を要請しているNGOがないかを調べ、同じことを考えている他のNGOをすべて記載したリストをお渡しする予定です。このリストには住所と連絡先の電話番号が書いてあるため、皆さんは北京に行く前に互いに連絡をとることができます。自分たちだけの独立したワークショップを行うのではなく、他の組織と合同することによって、北京に行く前にネットワークを作ることができるのです。これがひとつの方法です。もうひとつ、特に中国との合同を考える場合は、中国が準備するすべてのワークショップの調整を行なっている中華全国婦女聯合会に手紙を書くことが最善のやり方です。

Q4 そのリストは、いつ頃出来ですか。

私たちはまだ、ただ申し込みを受け取っているという段階ですが、同じ問題を取り上げているグループがたくさんあることがわかれば、できるだけ早くリストをお送りします。私たちは国際女性トリビュン・センターに対しても、申請をうけたすべてのワークショップ、討論会、文化イベント、活動をまとめて印刷し、北京会議のためにどのような活動が準備されているかを、誰もが事前にわかるようにしてほしいと要請しています。

Q5 中国との合同ワークショップに対する答は？

先程申し上げたとおり、中国が準備しているワークショップはすべて、中華全国婦女聯合会が調整を行なっています。私たちが皆さんに代わってこの組織に連絡することはできないため、皆さんが直接手紙を書くことが必要です。中華全国婦女聯合会に直接手紙を書いて、中国との合同ワークショップを開くことに興味を持っていると伝えるのです。

中国の団体をまとめている連盟に直接コンタクトするということですね？

そのとおりです。皆さんが中華全国婦女聯合会に直接連絡するほうが、スムーズに話が進められます。

Q6 現在の登録の状況は？ 日本から申請した場合、確認証を受け取るのにどれぐらいの日数がかかるのですか？

登録はゆっくりしたペースで進んでいます。私たちのシステムはまだ完成していないため、これは良いことだと言えます。システムが整っていないのです。この会社は私たちに、七五万

ドル相当の装置を寄付してくれる予定です。これは、登録業務を処理し、北京にビジネスセンタ―を作って、そこで必要になる装置をすべて賄うことのできる規模です。

申請書が受理されると、私たちからは二通の確認証が送られます。そのうちの一通は、ビザの申請の際に中国領事館で見せるためのものです。もう一通は北京に持って行き、それを見せ、フォーラムのIDパスを受け取ります。IDパスには写真が貼ってあります。つまり、これはIDパスであり、他の人に貸してはいけないということです。

次に、あなたのホテル登録用紙は、中国の組織委員会に直接送られます。つまり、登録料と登録用紙は私たちが受け取り、ホテルの登録用紙は中国側が受け取るということです。しかし、中国の組織委員会は、私たちがあなたの登録を確認するまで、あなたが利用するホテルを予約しません。言い換えれば、あなたの名前が登録されなければ、ホテルの予約はできないということです。ですから、ホテルの部屋を確保すると言ってくる旅行会社がいたら、注意が必要です。私たちはフォーラムのための部屋を一括で管理しているからです。

私たちのシステムを使って、皆さんに確認証をお出しするのにどれぐらい時間がかかるのかは、まだわかりません。しかし、確認証が必要なのはビザを取るためですね。確認証を事前にお送りするのはこのためで、これがあれば皆さんはビザを申請することができます。

Q 7 旅行社からの問い合わせが殺到しているとおっしゃいましたが、それは日本からですか、世界からですか？

ご質問は、旅行社についてですか？ 皆さんが利用できる旅行社がたくさんあるのか、とお聞きになったのですか？ 私たちは旅行社の推薦はしていません。私たちは旅行社と協力しているわけではないのです。質問の内容が違いますか？ あなたは英語をお話しになりますか？ 英語でおっしゃってください。

たくさんさんの日本の旅行社が北京での会議について問い合わせてきたとおっしゃいましたが、他の国の旅行社からもそのような問合わせがあるのですか？

私が皆さんに申し上げたいのは、旅行社には注意してほしいということです。おそらく、そのほとんどは健全で合法的な営業をしているのですが、私がデンバーへ行ってスピーチをしたとき、こんな話を聞きました。私が登録料は五〇ドルで、それですべてだと言うと、一人の女性が私のところに来て、鳥の絵が入って「第四回女性NGOフォーラム」と書かれた、本当に公式のものに見えるパンフレットを差し出したのです。そのパンフレットには三〇〇ドルと書いてありました。彼女は「アイリーン、あなたは五〇ドルと言ったのに、この紙に三〇〇ドルと書いてあるのはなぜか」と言ったので、私は「それは旅行社の仕業よ」と答えました。私たちはすぐにその旅行社に匿名で手紙を書き、情報を求めました。旅行社は、その会社を利用して旅行すれば、第四回世界女性会議に参加できると宣伝したのです。その旅行社は、NGOフォーラムだけでなく、公式の会議にも出席できるとまで約束していたのです。アメリカにはこのようなケースがありますし、ラテンアメリカでも同じような例がみられました。世間には旅行社というものがあ、この会議を利用して多額の利益を得ようと考えている人がい

ます。気をつけてください。

Q 8 参加の仕方について、ナイロビの会議ではエンターテインメント色の強いワークショップもたくさんありましたが、今回もそのようなものが参加できるのですか？

お茶会や生け花についてですが、イエスともノーとも言えます。このような催しには、真面目な部分と楽しみの部分の両方があります。私たちは北京で、ひたすら真面目でいられるわけではありません。私は、参加者がマッサージを受けられる場所を設ける必要があると思います。会場は非常に広いため、一日歩き回った後は、誰でもマッサージが必要になります。真面目なものと楽しいものとのバランスをとることが大切です。たとえば、会議では毎晩、文化的な催しが開かれます。そして、会場がスタジオムになっているため、朝は軽いランニング、つまりジョギングをします。フォーラムには、女性がしていることを紹介する様々なタイプのプログラムを取り入れていきます。日本からお茶会と生け花についてのワークショップしか参加しないとなれば、私は心配になってしまいうでしょう。

Q 9 では、どのようなワークショップを期待しておられますか？

私たちは、人々が活用できるような討論会やワークショップの枠組みを作っているところで、様々な問題に関する女性運動が、社会にどのような影響を与えているかを確かめたいと思っています。これまでの構造とは異なる構造、異なるプログラムをすることによって社会に影響を与えようとするNGOがあります。また、これまでの制度に影響を与えることによって、社

会の大勢にインパクトを与えようとするNGOもあります。

NGOがこれまでにやってきたことは二つあります。たとえば、資金調達と融資に関しては、インドの自営業女性協会のように、これまでのものとは異なるプログラムが生まれ、独自の融資プログラムを実施しています。また、銀行のような既存の機関に影響を与えようとしているNGOもあります。このようなNGOは、既存の銀行に対して女性に資金を貸し付けるよう働きかけているのです。私たちは、このようなグループに対して、自分たちがしたことや、自分たちが与えた影響を分析するよう求めています。これは分析の部分です。

二つめは実践の部分です。NGOがとった方法の中で、成功したものは何か、また失敗したものは何か。失敗について話を聞けば、同じ失敗を繰り返すことはなくなります。つまり、私たちは分析と実践という二つの要素を求めているのです。そして基本的には、さまざまな問題に対してNGOと女性が与える影響という概念についてです。私たちは、人権、健康、メディア、融資、環境、これまでのものとは異なる開発モデルなど、皆さんが取り組んでいるすべてのことを取り上げたいと考えています。このような活動について、分析と実践という二つの方法で話し合っていきたいと思っています。これによって、人々は最終的には私たちがどの分野に影響を与え、どの分野には与えていないのか、そしてどのような方法を基本として次の女性運動を計画すれば良いのかについて、理解できるようにしたいのです。たとえば、私たちが国連の事務総長を女性にするべきだと主張する必要があるでしょうか。私たちは、これまでにやってきたことを基に、戦略的な決断をしなければなりません。ですから、もしできるなら、皆さんのワークショップや討論会を、このような枠組みに当てはめて計画していただきたいと思います。

す。

Q 10 多国籍のNGOの場合、各国から申し込みを行なうけれども、登録は別でも構わないのですか？

別でもかまいません。ただし、ホテルの予約を申請するときに、一緒になりたいという希望を書いてください。

Q 11 北京会議に関する情報を、コンピューターネットワークで提供していますか？

はい、インターネットで情報を提供しています。日本にはAPCがありますか？

直接ではありませんが、インターネットは利用できます。

「グリーンネット」、「ピースネット」、「エコネット」は使えますか？ 私たちはすべての情報をインターネットを通じて提供しています。APCとインターネットです。

Q 12 事務局から会議の速報は出されますか？

私たちが、毎日、新聞を発行するのかという質問ですか？ 中国での会議の報告書のことですか？ 会議には何百人もの報道関係者が来ますので、報告書は作られます。どのような報告書でしょうか？ 講演の内容のようなものですか？ APCは電子メールに関するすべてのシステムを統合しているので、新聞記事を含む北京からのニュースはすべてAPCから発信され、外にいる人も中で何が起きているのかを知ることができます。これが方法のひとつです。

もうひとつの方法として、私たちは北京で起きていることを外にいる人にも知らせるため、ビデオ会議の手配を進めています。これは対話型のものになります。つまり、私たちはこのフォーラムを、女性が最新技術をどのように利用するかを示す場にしようと考えているのです。これは、私たちがやろうとしていることのひとつです。もうひとつ、私たちはフォーラムを通じて、女性がどのようにして会議をプロフェッショナルに運営するかを示したいと思っています。登録が事前に行われるのはこのためです。私たちは、会場での登録受付はしません。登録を混乱させたくないからです。この会議は効率的で、有効で、適切に運営され、最新技術を利用したものになるでしょう。

ひとつお知らせがあります。会議で活動したいと考えている人には、もうひとつ、考えていただきたいことがあります。会議の期間中、歌の夕べを催します。ここでは、女性を作った歌なら何でも歌うことができます。私たちはこれを録音して、女性によって作られた世界中のさまざまな曲が入ったテープを作り、皆さんにお分けします。このほかにも、詩の夕べとダンスの夕べがあります。また、地域発表の夕べを二日開催します。すでにアラブ、太平洋地域、カリブ諸国の女性が、地域発表をしたいと伝えてきています。そして、政治に関わる女性の夕べ、という特別の催しを行います。この催しには、政治に関わっている女性や、女性の政治家を招きます。このように、毎晩、さまざまな文化的行事が催されます。女性のための功労賞も設ける予定です。これは、生きている人と亡くなった人の両方を対象に、他の女性に変化をもたらしたのに、その功績が認識されていない人に与えられます。つまり、有名になった人、無名の人というのではなく、他の女性の生活に変化をもたらした人のための賞です。私たちは、

世界中の国から一〇名程度を選びたいと思っています。また、国際女性コンサートも開きます。これは、世界中からトップクラスのアーティストを北京に招いて行なう六時間のコンサートです。皆さんが日本で最高の女性アーティストにこのショーのことを説明し、彼女の時間と才能を提供していただくことができれば素晴らしいと思います。たとえば、私たちはアメリカで、ホイットニー・ヒューストンとティナ・ターナーがコンサートに出演してくれるよう交渉しています。このように、皆さんが日本のトップアーティストを招くことができれば、コンサートは本当に良いものになります。

Q 13 ナイロビの会議の時に、宿泊先の混乱がかなりありましたが、今回は大丈夫ですか？ 空港とホテルの間に、各国語で対応できる交通機関が二四時間体制で用意されていますか？

ナイロビに行ったことのあるすべての人にとっては、忘れられないことが二つあります。一つは大混乱の登録手続き、もう一つは大混乱のホテルの予約システム、またはこのようなシステムがなかったことです。私もナイロビに行きましたが、そのときに北京では絶対にこんな状況を作ってはならないと誓いました。私たちが事前に登録を済ませるようお願いしているのはこのためです。事前に済ませられることはすべて済ませて、現地でやらなくてもよいようにするのです。

ホテルの予約については、私たちはNGOフォーラムの参加者のための予約を、公式会議の参加者とは別に行っています。ナイロビで何が起こったのかと言うと、公式代表団が到着すると、NGOの代表団は放り出されたのです。代表団が到着したとき、私たちのスウィッチケースはロビー

に置かれていました。今回は、公式代表団のホテルの予約は、私たちの予約とは別です。

次に、交通機関についてお話しします。皆さんが北京の空港に到着すると、参加者のための専用通路が用意されているため、普通の旅客と同じ通路を通る必要はありません。NGOの参加者専用の特別の通路があります。

それから、バスが用意されます。私たちは今、皆さんに色をお知らせして、その色によってどのバスに乗ればよいのかがわかるようにする方法を考えてます。また、主なすべてのホテルからフォーラムの会場まで、一日に数回シャトルバスが運行されます。さらに、フォーラムの会場から公式会議の会場まで、所要時間約二〇分のシャトルバスもあります。皆さんの滞在中は、一〇ドルを支払えば一二日間、すべての電車やバスに乗ることができるパスをもらえます。このように、交通機関には問題がないと思います。

Q 14 通訳を伴っての参加は認められますか？

フォーラムには、五か国語の通訳があります。六か所ほどの会議場に、スペイン語、英語、フランス語、アラビア語、中国語の通訳を用意します。日本語の通訳はありません。

小さなワークショップにまで通訳を置く余裕はありません。このため、言葉の問題があると思う方は、ご自分で通訳の手配をしてくださるようお願いします。

Q 15 開会式、閉会式はありますか？

開会式は行われます。私たちが計画しているのは、メキシコ、コペンハーゲン、ナイロビで

の会議の運営責任者を表彰するだけ、という非常にシンプルなものです。もちろん、モンゲラさんも出席されます。次に、中国の方が演技をします。式の最後には、花火を打ち上げます。

Q 16 開会式には何人ぐらい参加できるのですか？

七万二千人です。

七万二千人！ 素晴らしいですね。

会場には、大きな建物が二つあります。一つは七万二千席の大きなスタジアムで、もう一つは一万七千席の体育館です。七万二千席のスタジアムは、開会式と閉会式の両方で使われます。

（第四回世界女性会議日本国内委員会NGO部会主催「女性NGOフォーラム」について聞く会の講演から要約）



「女性NGOフォーラム北京'95」 の準備状況について

華 福 周 (ホーフズオ)

(中華全国婦女聯合会常務委員、書記処書記)

このたび第四回世界女性会議を開くにあたりまして、日本国内委員会NGO部会の皆様方が私たちにこのような機会を与えてくださいましたことを心から感謝申し上げます。

皆様方に第四回世界女性会議並びに女性NGOフォーラムについての準備状況について、ご紹介したいと思います。

ご存じのとおり、一九九五年は国連の設立五〇周年にあたります。また、国際婦人年二〇周年、またナイロビ将来戦略が採択されてから一〇周年を迎えます。このような非常に意義ある一年であります。特に、北京で、「平等、開発、平和のための行動」ということを主たるテーマにし、また、副テーマといたしましたは、雇用、保健、教育というテーマで、第四回世界女性会議が開かれることになっており、全世界から多くの注目を集めております。

これは中国人民また中国の女性にとって大きな事柄であるばかりでなく、アジア全体の人民また女性にとっても大きな事柄であると思います。

私たちと一衣帯水の隣国である日本からも多くの友人が北京に來られ、このNGOフォーラムに参加されると伺っております。私どもは心から、日本の皆様方がこの會議に参加されるこ

とを歓迎いたします。

私どもといたしましては、この第四回世界女性会議並びに女性NGOフォーラムの全体の準備の作業期間において、また会議の期間におきまして、中日双方が状況を知らせ合い、情報を双方で提供することによって、この会議及びフォーラムの成功のために、私たちにとって恥じない、あるいは時代に悔いのないすばらしい貢献をいたしたいというふうに思っております。

着々進んでいる中国の準備状況

それでは、この第四回世界女性会議並びにNGOフォーラムに関係するいろいろな状況について、概括的なご紹介をいたしたいと存じます。

この第四回世界女性会議を開催することになり、一九九二年の八月には、中国政府がこのための中国組織委員会をいち早く設立いたしました。その当時は、中国の国務委員である李鉄映（リーティエイン）先生が主任委員ということでありました。

そのあと、一九九三年の七月になりまして、国務院の全体の機構、またスタッフの調整がありました。それにより、国務委員の彭珮雲（ボンペイイン）女士が主席となりました。そして、主席の下に副主席が設けられまして、その中には国務院の副秘書長の徐志堅（シュージー）先生、外交部の副部長、つまり次官の劉華秋（リウホウチュウ）先生、北京市の副市長である張百発（ジャンバイファ）先生、それから中華全国婦女聯合会の副主席である黄啓璪（ホワンチーアオ）女士も含まれております。また、この組織委員会の秘書長は徐志

堅氏が兼任しております。

この組織委員会は全部で三〇の職域からの三七人のメンバーから成っております。その中には、女性の正・副部長、つまり大臣・次官クラスの人々が一二名含まれております。そしてこの組織委員会の下には五つの機能を果たす、機能委員会が設けられております。すなわち、政府間会合である世界女性会議委員会、宣伝、PRの広報活動を行なっていく宣伝動員委員会、NGO委員会、行政財務委員会及び安全警備委員会です。そして、別に弁公室（事務室）が設けられておりまして、それがそれぞれの機能委員会の業務を調節していく役割を果たします。私どもの所属している中華全国婦女聯合会は、主にNGOフォーラムのほうの準備活動に参加しております。NGOフォーラム委員会の主任は、全国婦女聯合会の副主席兼書記処第一書記である黄啓瓏女士が担当しており、この委員会は全部で五〇人余りからなっております。目下この中国の組織委員会の準備の作業は、すでに全面的にまた計画的に、効率的に行なわれつつありまして、これはもう分刻みの段階に入っているというふうにも申せます。

国連事務局も、たびたび中国を視察

私たちのした仕事としましては、第一に、昨年的一九九三年六月に、第四回世界女性会議のガイドールド・モンゲラ事務局長が、国連の最初の視察団を率いて中国を訪問されたことです。私たちは成功裏に歓談いたしました。

そして、視察団の訪中を通して、第四回世界女性会議の会場は北京国際会議センターと

することが確定いたしました。同時に、大会の開会式は人民大会堂で行なうこと、NGOフォーラムは、北京労働者スポーツサービスセンターで行うということが決まりました。

九四年の二月に入りまして、'95NGOフォーラムの召集人とされておりますスパトラ・マスディットさんが自らフォーラムの会を視察されまして、ホスト国である我々とその準備の状況等についての話し合いを行ないました。

また六月になりまして、国連の第二回視察団が北京を視察されました。そしてホスト国である我々といろいろなことについて協議し、また会議にとって必要ないろいろな事項等についても具体的な話し合いが進められ、双方はこの視察の結果に対して、満足の意を表しました。

九月に入りますと、国連の事務総長であるブトロス・ガリ氏が中国を訪問し、ホスト国との協定を結びました。

広報活動も活発です

国内的に、私どもは「婦人の地位のためのナイロビ将来戦略」の実施に関する国家報告を作り、それを九四年の三月にESCAP並びに第四回世界会議の事務局に提出いたしました。また六月に入りまして、『中国婦人の状況』という白書を出版いたしました。

次に、それぞれのレベル別に、社会的なPRの仕事、動員の仕事をいたしました。全部で一〇万部のいろいろな宣伝資料等を作りまして、この第四回世界女性会議の趣旨、またその意義について広く宣伝を行ない、社会全体の参画意識といえますか、その向上のために努力してま

いりました。

また統計によりますと、九三年だけでも全国のマスコミ関係、新聞等でも大変多く、第四回世界女性会議の報道がなされました。統計によりますと、数百ぐらいのニュースが出されたということでもあります。視聴者が四億人余りに達する中国の中央電視台CCTVでは、何回にもわたって、この第四回会議を主たるテーマにした番組を報道いたしました。

94三月八日国際婦人デーにおきましては、全国の各省で、「三八婦人デーを祝い、95会議を迎えよう」といういろいろな文芸の出し物の活動を行ないました。そしてすでに四〇社余りのマスコミ関係が、宣伝のための報道ネットワークを組織しております。また数百万人の人々が参加する、この会議にちなんだいろいろなクイズなども行ないました。私が今回北京を離れる前に、全国婦女联合会とCCTVがタイアップしまして、このクイズ番組が放映されました。

それからまた、この世界女性会議の影響力をさらに広めていくために、組織委員会といたしましては、国内の一八社のマスコミ関係を通じて、広く今回の世界会議のための会議ロゴマーク、世界会議の歌、ポスター等を募集しました。会議のロゴマークはすでに応募を締め切りまして、確定いたしました。その図案は丸く、その中に緑色のハトがいて、だいたい色のリボンをくわえています。そのリボンはCという形です。つまり英語のチャイナのCの文字を取ったものでありまして、そのリボン上には白地で「95BEIJING」という字があらわれております。(注 これは、中国組織委員会が制定した広報用のロゴマークで、国連としての世界女性会議のロゴマークは従来からの「鳩マーク」で、NGOフォーラムのロゴマークは、新しく定められた八人の人が手をつないでいるものです。)

この会議のロゴマークの応募件数は全部で三、二六九点ありまして、その応募作品の中から選ばれて決定したものであります。会議の歌やポスターも、間もなく確定されるであろうと思いますし、それ以外に記念切手と記念紙幣などの印刷も行なうことになっております。

スタッフも着々養成

私どもは、スタッフの養成の仕事にも力を入れています。全国の各省でさまざまな研修が行なわれていまして、多くの人々が率先してそれに参加しておりますし、またその内容も大変多岐にわたっております。すでに行ないましたこれらの研修には、国連の政府間会合の事務に関する研修、またナイロビ将来戦略に関するいろいろな勉強、研修のほかに、パソコンの操作、外国語の研修等、いろいろなものが含まれております。不完全な統計でありますけれども、全国各地ですでにこのような研修が行なわれた回数は四四〇〇回余りにも達しておりますし、またそれに参加したスタッフの数はすでに一八〇万人くらいに達しています。私どもは、これを基盤にいたしまして、さらにそれを雪だるま式にどんどん増やして広く人々が参加するような効果を生み出したいと考えております。

また、組織委員会といたしましては、会場あるいは展示会場等について、いろいろな準備の仕事をしないつつあります。

NGOフォーラム委員会としましては、さまざまなテーマ別のシンポジウムに取り組んでおります。今のところ準備されておりますのは、全部で三八のテーマで、その中には婦人の教育

の問題、就職の問題、それから保健、参政、法律におけるその地位など、各方面の問題が網羅されております。

この会議の期間におきましては、各省、自治区と直轄市、それから全中国の五六の民族、また、さまざまな分野の女性たちが、いずれも自らの代表を選びまして、直接このNGOフォーラムの活動に参加することになっております。おそらくこの中国国内の人数は五千人余りとなると推定しております。

それから、いろいろな団を組織いたしましたして、'95世界会議とNGOフォーラムに関連する国際的な、あるいは地域的な会議にも出席しております。例えば、第三八回婦人の地位委員会、また、ニューヨークで開かれました'95NGO企画委員会が行ないました協議会、それからマニラで開かれたアジア太平洋地域の開発と女性に関するNGOフォーラム、カイロで開かれた国際人口・開発会議、北欧地域及びヨーロッパ地域、またラテンアメリカ地域等、いろいろなフォーラムが開かれておりまして、その協議の活動等にも参加しております。

このようにいろいろな会議に参加することによって、情報の交換と同時に友情を深めることができたばかりでなく、私どもはそれぞれの会議の組織活動の状況等についても理解することができました。それによって、今後私たちが'95世界会議及びNGOフォーラムに取り組む上でも、大変意義のあるものであったと思います。

世界各地のNGO委員会でも協議

六月の末に'95NGOフォーラム企画委員会の執行機関であります活動委員会が、中国の組織委員会、NGO委員会と中華全国婦女聯合会の招きによりまして、中国の北京で活動会議を行いました。そのときには、世界の五つの地域のNGOの連絡を担当しているスタッフの方々がそれぞれの準備の状況についての経験の交流を行いました。

そのときの会議に参加した人々の共通の気持ちは、この第四回女性会議と'95NGOフォーラムを立派に行なおう、そしてそれをまた立派に行なうだけの自信もあるということでありました。つまり今度の会議は必ず立派に成功させることができるということでありました。

友人の皆さん、姉妹の皆さん、'95世界女性会議は本当に未曾有の大規模な大会であり、これは国連のメンバー国のすべての国々にとって大きな事柄であり、そしてメンバー国がこれに対して関心を寄せ、また参加していく必要があります。私は日本の皆様方が積極的にご参加なさることを確信しております、またこの大会の成功のために自らの努力を惜しまず、頑張ってくださいるものと信じております。

政府間会議の会場

では、次にこの'95世界女性会議の会場、それからまた宿泊、交通等の面につきましての準備状況をご紹介しますと思います。

まず第一は会場の状況です。第四回世界女性会議は一九九五年の九月四日から九月一五日まで開催されます。そして国連の視察団の意見、それと同時に我が国の実情を考えまして、政府会議のメイン会場は、北京国際会議センターに決定、開会式は九月四日に北京の人民大会堂で行なわれることになりました。一方、八月三〇日から九月八日まで開かれるNGOフォーラムのメイン会場は、北京労働者体育スポーツサービスセンター（体育服務中心）をメイン会場とすることに決めました。

では、これら三つの会場の基本的な状況等について、簡単にご紹介したいと思います。

第一は、人民大会堂ですが、一九五九年に建てられまして、北京市の中心の天安門広場の西側に位置しております。建築総面積は一七万平方メートルに達しております。この人民大会堂は、中華人民共和国人民代表大会常務委員会の所在地でありまして、また中国の政治、経済、文化、外交活動の中心でもあります。国家の指導者たちは、ここでいつもいろいろな活動を行ない、また国賓あるいは国際的な友人たちに接見する場所になっております。この人民大会堂のメイン会場は、一万人を擁する会場でありまして、その一階には約四千人ぐらいを収容でき、六か国の言語で通訳を聞ける同時通訳の設備もあります。

第二は、北京国際会議センターです。一九九〇年に建てられたもので、北京市の市街地の北部に位置しております。敷地面積は全部で五万平方メートル、人民大会堂との距離は約一〇キロ、車で二〇分ぐらいでNGOフォーラムの会場、あるいは首都国際飛行場に到着することができます。

この会議の期間中、国連の事務局が北京国際会議センターの中に設置されます。この北京国

際会議センターの設備も大変進んでおりまして、さまざまな国際的あるいは国内の会議を引き受けることができます。それと同時に展示等も行なうことができ、中華料理や西洋料理のサービスを提供できます。大会議場には、二八〇〇人を、中会議場では六〇〇人を収容することができます。また四〇余りのさまざまなタイプの中小会議室もあります。

この会議センターの周囲には、いろいろな施設が設けられています。会議の各種サービスに関する施設、レストランや娯楽レジャー施設等です。また会議センターのビルの中にはビジネスセンターあるいは旅行案内、それからコピー、タイプ等、会議にとって必要な諸設備、サービスが行われます。目下そのための準備を行なっております。

また、会議のニーズにこたえるために、我が国の政府と、国際会議センターを経営している北辰集団（北辰グループ会社）が共同で出資いたしました、二つの約一〇〇〇人を収容できる会議室をこの第四回世界女性会議のために新たに建設いたしました。これは第一、第二委員会の会場とすることになっております。そしてその主たる会場には、いずれも同時通訳の設備、それから中国語という即席発言システム、つまりそれぞれの席にマイクがついた設備等がみんなそろっており、それは国際会議の基準に達するものであります。

NGOフォーラムの会場

会場となる北京職工体育服務センター（北京労働者スポーツサービスセンター）は一九五九年にできまして、北京市中心から東寄りの地域にあります。面積は四〇万平方メートル、建築

面積は一三万平方メートルです。その中には大型のグラウンドと体育館、あるいはまたいろいろな会議を行なうためのビル、集会場等が設置されております。そのほかレストランやいろいろな展示場、あるいはショッピング等を一体化した、総合的なサービスシステムを備えております。

NGOフォーラムのためには七万二〇〇〇人を収容することができるとして、つまり大きなグラウンドを提供して、そこで開会式を行なうことになっていきます。それと同時に、体育館では二〇〇人を収容できる五つの会議場、それから六〇の小会議室を提供することができま

す。

ホスト国といたしましては、この主建築の周囲の空地を利用いたしまして、そこに三〇の臨時会場を設置いたします。私たちはそれをテント会場というふうに申しております。

会議の期間中、ホスト国といたしましては、さまざまなサービスを提供することになっていきます。その中には国連公用語の通訳の提供のほか、会議の実況中継放送、またレジャーエリア、ショッピングエリア、展示場等も提供することができます。また、この会議のためには、レストラン、銀行、郵便局、ビジネスセンター、情報センター、また、旅行案内、医療ステーション、それから幼稚園、哺乳室、インフォメーション、あるいはまた遺失物の受取場等の設備も設置いたします。

ホテルの準備状況と予約方法

次に、生活の面における接待をいかにするかについてのご紹介を申し上げます。

まず第一点は、ホテルの客室の予約の問題であります。国連の女性会議事務局とNGOフォーラムの活動委員会からの情報によりますと、この%会議に参加する国連のメンバー国の政府代表並びに新聞記者の方々は、恐らく一万人近くに達するであろうと予測されております。同時に、NGOフォーラムに参加される各国のメンバーは、恐らく二万人であろうと推定しております。これらの方々のホテルの客室の確保をどのようにするかということでありますが、私どもは各国の友人の皆様方のさまざまな経済的な条件とか、さまざまなニーズにおこたえするために、条件も比較的整っており、また交通も便利でサービスもかなりよく、価格としてもかなり優遇されているということを基準にいたしまして、この二つの主会場を中心に、星印のあるホテルを全部で八八、また星印なしのホテルと招待所を三三選びました。それぞれのホテルが、客室を提供するわけですが、各ホテルが会議参加のために客室四〇%を確保することにしました。これで、全体で三万人分のベッド数を確保することができると予測しております。

では、このホテルの客室の予約の仕方、その価格見積り等についてお話ししたいと思います。各国の参加者の宿泊を確保するために、また観光などの接待の仕事を順調に行なうために、中国組織委員会といたしましては、四つの登録申請用紙を作りました。中国語では四つの登記票となっています。一つは政府間会合のホテル予約登記票、申込票、それからNGOフォーラムのホテル予約票、記者の取材のための登録申込伝票、そしてもう一つは、観光予約の申込票、

この四つの用紙を準備いたしております。

政府間会合のホテル予約の登記票、申込用紙は、ニューヨークに常駐している中国国連代表部から送付されます。NGOフォーラムのホテルの申込用紙は、中国の組織委員会がニューヨークのNGOフォーラム活動委員会に送付いたします。そしてNGOフォーラム活動委員会から各地域及び各国のNGO組織に送るという段取りです。

記者の取材のための申込み、登記票は、中国組織委員会から各国に駐在している中国大使館とニューヨークに常駐している中国国連代表部に送ります。

それからまた、観光予約の登記票、申込票もあります。これは、政府間会合とNGOフォーラムとの二つのホテルの予約の登記票、申込票と同時に発送することにしております。

それぞれの申込票をどのように確認するかということですが、上記の申込票を書き入れた後に、それを中国の組織委員会に送付し、それを中国の組織委員会がそれぞれ各ホテルに渡すということになります。それぞれのホテルは、それぞれの客室の空き具合に基づきまして、予約者が申込票に書いて指定した条件に基づいて、そのための部屋を準備するようにいたします。

申込票中の指定ホテル名が書かれていない場合には、先に届いたものから便宜を提供します。即ち、先着順となります。この先着順という原則は、会場を中心にいたしまして、なるだけ近いところから手配しますので、遅くなった場合には、会場よりかなり遠くのホテルになってしまふことになります。ホテルはそのオーダーを受け取った後に、直接予約をした人と確認を取ることになっております。

価格については、世界女性会議の団体優遇価格を提供するつもりでいます。九五年の三月三

一日前に予約をなさった方々に対しては、エコノミークラス、あるいは大変安い価格の客室を除きまして、三つ星以上のホテルの場合には、価格の二割引きの優遇を行なうことになっております。ホテル客室の予約締切日は、九五年五月三十一日といたします。先ほど申しました三月三十一日にしましても、五月三十一日にしましても、いずれもその郵便切手の消印を基準にいたします。（注 部屋代は、一客室当たりのもので、通常一室は、二人部屋とのこと。したがって、一人当たりの部屋代は、記載のものの半額と考えられます。）

交通機関もサービスで

大会の期間中は、三つの交通アクセスを用意いたします。第一点は、空港からホテルまでの送り迎えて、これは有償です。第二点は、政府間会合とNGOフォーラムの二つの会場の間には、シャトルバスの的なものを用意いたします。そしてまた、主なホテルと会場の間の路線にもこのバスを提供いたします。これは無料サービスです。第三点は、参加者の皆様方のご随意ですけれども、一〇ドルで乗車カードを購入していただきます。これは、タクシーの利用が除外されているほかは、近郊までのいろいろなバス、あるいはまた地下鉄も含んでおり、一〇ドルのパスで何回でも自由にお乗りいただけます。

会議室は有料か無料か検討中

会議室の利用、借用の問題については、政府間の会議におきましては、事務室、あるいは会議室等を予約する必要がある政府代表団は、できる限り早めに中国の組織委員会の行政財務委員会と連絡をとっていただきたいと思います。会議室の使用は、有料サービスということになります。

またNGOフォーラムの会場の借用、あるいは展示会場や、ワーキング・グループ会場の借用に関しては、NGOの活動委員会、中国では工作委員会と連絡をとりまして、それは有料のサービスというふうになっております。(注 中国側は、NGOフォーラム事務局に対して会場等場所を提供するのみで、直接利用者、即ち参加者との間に貸借行為は行なわない由で、有料か無料かはNGOフォーラム事務局の判断によると考えられますが、現在、確認中です。)中国といたしましては、さらに積極的に、また、責任を持って、この準備活動に取り組みたいと思っております。そして会議のためによりよい施設、設備、サービス等を提供していきたいと心より願っております。

それと同時に、私どもはこの会議を契機として、政府やまた会社のために女性の一連の問題の解決をよりよく進めていき、女性たちがこの開発に参画していく上で、よりよい環境とミードを作るために努力して、女性の活動を新たな段階にまで推し進めて行きたいと願っております。

親愛なる姉妹の皆さん、友人の皆さん、時代の歯車はすでに二一世紀にますます近づこうと

しております。私たちが直面しているいろいろな問題も多くの共通性を持っております。例えば平等、開発、平和の問題、また健康、教育、就職の問題、参政、立法、環境保護の問題、また農村の婦人、高齢化の問題等々、すべてこれらの問題の解決にあたりましては、各国政府、人民・女性の共通の努力、そしてより一層の協力が必要とされるところだと思います。

中日両国の長い友好の交流の歴史を顧みますと、この中で私たち女性は多くの功勞をもたらしたと思います。私たちはこれに對して、多くの誇りを持っていると同時に、また未來を展望して、自信に満ちあふれ、進んでいきたいと思っています。

私どもは、両国の女性たちが小異を捨てて大同に付き、さまざまな分野で積極的なまた効果的な研究、交流を行なっていくことを心より希望しております。中国には、「女性は天の半分を支えている」という言い方がございますが、これは女性が人口の半分の半分を占めていることとばかりでなく、女性たちは男性と同様の責任感、そして問題を解決していくだけの能力を備えているということを表しています。

私たち中日両国の女性たちが互いに手を携えて、この天の半分を支える役割をとともに担い、またこれを立派に担うことによって、平等、開発、平和を求めるために自らのできる限りの貢献をしようではありませんか。

以上九五五年の女性会議及びNGOフォーラムの準備状況等についてご紹介いたしました。もしも先ほどお聞きいただきましたことに関しまして、何かはっきりしないこととかございましたら、どうぞご質問をしていただきたいと思います。私が知っている限りのお答えをここでさせていただきますと思います。

〔質疑に対する応答の一部から〕

〔通訳について〕

具体的に申しますと、政府間の会議の場合には、国連が統一して通訳を用意し、配置します。NGOフォーラムに関しては、もし日本語の訳が必要なら、それぞれの団で通訳を自国で準備して同行していただくことになります。ですから、やはり参加者が、いろんな言葉がおできになるのが最も望ましいということになります。観光などを会場の外でなさるといふ場合は、中国語―日本語の通訳を中国側で用意することも可能でしょう。（注 国連の公用語による同時通訳―これには日本語は含まれない―が行われる会場はごく少数で、他は主として英語か中国語が中心となるため、会場内では英語―日本語の通訳が望ましいと考えられます。）

〔展示について〕

展示会場に持ち込める展示品の大きさは、今考えているのは、あくまでも小型のものであり、例えば、手工芸品、それも携帯することができるような規模のものです。あまり大きなものになりますと、我々としては受け入れるだけの力がございません。中国側の展示会場では、今一〇〇人くらいを動員いたしまして、手工芸の専門家というか、一本の針とちよとした道具で、何かすてきなものをそこで実演して見せるとか、そういうような手工芸品の展示会場、実演場というようなものを考えております。ですから、展示品というのは、あくまでもそのように小型のものというふうに理解していただきたいと思います。パネルのようなものでも、軽くて自

分が持ち歩けるようなもの、それであればよろしいというふうに思います。

「ホテルの指定について」

特定のホテルを指定していただくことは可能です。しかし、先に来たものを優先するというふうに申しましたが、もし例えば北京飯店を希望され、部屋が空いているということであればそこに予約するようにいたしますが、すでに北京飯店がいっぱいになっていた場合には、北京飯店ではない、ほかのホテルに行ってくださいということになります。

「OA機器等について」

ワークショップで、スライドとかビデオを自分たちで準備して、会場の中に持って行って上映することは、メイン会場と言われている会場では可能です。ただし、それ以外の、いろいろな会場、例えばさっき申しましたテント会場などでは、そういう設備は一切使えません。スライドにしても、OHPにしても、そういうものをご利用なさるときには、一応メイン会場には、そういう設置をされたものがございますので、スライドならスライドのフィルムをご持参いたなければそこで放映できるということです。正直に申しまして、すべての方が、メイン会場に行けるとは限りません。やはりできるだけ早めにそういうご要望を出していただけだと思います。

〔車椅子の使用について〕

身障者の方々の車椅子については、例えば空港では車椅子を準備しております。また車椅子をお使いになる方々のための通路等も、今設置しております。一方、会場の中におきましては、車椅子を利用していらっしゃる方々の席を別に設けるようにいたします。

〔その他〕

私たちの組織委員会では、一方で、いろいろな活動も行うよう準備しております。例えば、フォーラム開催中、北京の中のいろいろな観光地、あるいは近くの華北省のどこかとか天津等に、皆さんに見学に行っていたく。あるいは、中国の都市の女性と会っているいろいろお話をしていたく、あるいは農村に行つて農民女性たちとの話し合いを行うとか、そういうような活動を、会議以外に私たちとして準備しております。それらはもちろん一応無料で、それを皆様に楽しんでいただくという企画です。北京市では、この会議の期間中、毎日二〇の路線バスを使って、全部で二〇〇の見学地へ行って見ていただくというようなことを企画しております。

（以上、総理府における説明会から要約）





激しい議論 国連女性の地位委員会

四月十三日、総理府で開かれた社会開発サミットと国連女性の地位委員会の報告会は、北京会議を控えているだけに満員の盛況。聞き手の熱気もあふれていたが、報告者も熱弁だった。西川潤氏がデモクラシーの国デンマークで開かれた社会開発サミットを楽しく報告した後の、第三九回国連女性の地位委員会の報告は、対照的に北京会議の前途を思わせる暗雲を感じさせた。

日本政府代表有馬真喜子さんの報告によると、毎晩早くて十一時、連日午前一時二時までに及ぶ猛烈な会議だったが、それでも討議が終わらず、休日返上、しかも会期を三日延長して、なお懸案が残ったという。

北京で討議される世界行動綱領は、一年前の第三八回女性の地位委員会で素案が作られていたが、その後世界五地

域で開かれた準備会議やカイロの人口開発世界会議の議論を採り入れ、コペンハーゲン社会開発サミットでの討議の上に原案が作成されたのにもかかわらず、それまでの討議をひっくり返す意見が次々に出たこと、主要委員たちは社会開発サミットから直行して駆けつけたため、原案が会議の前々日に配布されたことなどが、紛糾の直接的原因だったようだ。原案の内容や文章も不出来な部分があり、そこをつきだすと、問題がどんどん広がって、結局、最終日にも未決定を表わすカツコつきでようやく原案が通過した。最終的には、前段階の四つの会議からの後退は一応回避できたものの、最終決着がつかなかったものも多く、北京ではまたひと荒れするのでは……と予測されている。

その紛糾の席上、中国側から突然NGOフォーラム会場変更の申し出があったという情報が入り、一層の激震が走ったが、十の重大問題領域を十二にする(新たに「少女」を加え、保健を「教育」と「保健」に分けた)ことを可決して終わった。「少女」が加えられたのは、幼女買春、少女の未就学などを特に途上国が強調したためで、世界にはまだまだ深刻な貧困があることを感じさせられた。メキシコ会議以来の南北の対立は、ますます激化しそうだという。(ま)

NGOフォーラムに三万五千人の参加登録

NGOフォーラム'95北京の参加登録数は三万五千人と国連NGO事務局が発表。大部分は日米両国の女性とのこと。

当初二万人の参加を予定していたため、会場問題もからんで、一部は締め出されるのでは……というわさも出ていますが、日本は、ほとんど短期滞在型。実質的には、一日二万人程度で納まるのでは、とも考えられます。また、ほとんどのグループがワークショップを予定していますが、内容が重複するものもあるようで、日本各地の参加状況を調査し調整することが、人手不足で混乱している国連NGO事務局を助けるためにも、必要ではないかと考えられます。

NGO参加確認証の送付、日本は最後に

参加登録手続きをしたのにまだ確認証が届かないのは、ア

フリカなど遠隔地から順次発送し、日本とアメリカは最後になるためとのこと。確認証がないとビザが出ませんし、宿舎の予約もできないので、各申込者も旅行社も困りぬいています。日本分を一括して日本に送ってもらうなど、何か方法はないものか、参加日程、ワークショップの予定・会場変更問題等も含めて、一度、日本の参加予定者で話し合うことが急務のように思われます。総理府や大組織の呼びかけを拒否するグループもありますので、草の根グループのいくつかが核になって名案を考えたいものです。

あとらツアーの参加予定は六五名

成田発三五名、大阪発一五名、福岡発一五名の合計六五名で、ほとんど全員が会議集中型です（ただし土日には蘆溝橋抗日記念館と万里の長城・紫禁城を見学します）。一応締切りましたが、まだ二、三名の追加は可能ですので、ご希望の方はお申し込みください。参加の方には、ニュースレターを

お送りします。

中国語会話教室を始めます

簡単なあいさつくらいは中国語でできるように、五月二五日から毎週木曜午後六時―七時半、へあこらで中国語会話教室を始めます。

講師は武漢の大学で二十年間日本語を教えておられた袁晞教授。やさしくてしかも実力派です。受講料は一回千円、少人数制です。

地方会議が力ギ 不戦決議

国会不戦決議に反対する国会議員が激増しました。自民党の〈終戦五十周年国会議員連盟〉は二一〇名、新進党の〈正しい歴史を伝える国会議員連盟〉は四一名に。この両連盟と院外の「戦没者追悼感謝決議」を推進してきた右翼勢力は同盟関係を形成、五月二九日、日本武道館で、アジア十九か国の代表を呼び、「追悼・感謝・友好・アジア共生の発展」を開催、「大東亜戦争はアジア解放の聖戦」だと認知させよう

としています。

不戦決議未採択の都道府県は二九。北海道・秋田・福島・宮城・新潟・長野・群馬・埼玉・東京・神奈川・山梨・静岡・愛知・石川・福井・京都・大阪・奈良・三重・和歌山・兵庫・広島・鳥取・山口・徳島・佐賀・長崎・鹿児島・沖縄、この動きがキイポイントになりそうです。

アジア女性資料センター誕生

〈アジアの女たちの会〉、松井やよりさんを中心に、アジアの女性に関する資料を集め、「開発のアジア」よりも「人権のアジア」を目指し、女たちの二二世紀をアジア女性たちと共に創ろうと、〈アジア女性資料センター〉が発足しました。機関誌「女たちの21世紀」第一号も発刊されました。

設立記念シンポジウムは六月三日(土)二時―五時「女たちの二二世紀を創る―北京世界女性会議と中国・日本・アジア」(田畑佐和子・中原道子・松井やより)早大国際会議場で。問い合わせは〒150東京都渋谷区桜丘14-10 渋谷コープ三二一アジア女性資料センター、TEL〇三〇三七八〇〇五二四五 FAX〇三〇三四六三〇九七五二へ。

人が見えない人びと

依田明実

(NHK国際局制作センター)

地方で暮らすこと五年、久しぶりの東京です。

ひとことだったラッシュの電車に乗り、人混みの中を通勤する日々です。

扉のガラスに人々が張りついているほど混んだ電車でも、扉があくと、ホームで待っていた人々は肩やおしりから体をつっ込んでいきます。電車の中では自分の体は思いどおりになりません。

でも、人々は文句も言わず、ひたすら黙って耐えています。お互いに目を合わさないように顔をそむけたり、目をつぶったり、遠慮がちに新聞を広げたりして。定員の数倍も人が乗っているのに、静かな車内はちよつと異様な感じ です。

今の私にとっては、街を歩くことも大変です。

カラフルな看板、派手なネオン、漂ってくる様々な匂い、絶え間なく聞こえてくる宣伝文句、そして何よりも人の多さ……。

あまりきよろしなから歩いていると目が回るものですから、最近では下を向いて歩くことにしています。

交差点を渡るときは、緊張します。信号が青になると同時に押し寄せてくる人波。たくましく闊歩する女性を楯にして、その後ろを歩きます。

団子状態になったり横に広がったりして歩いている少年少女たちに阻まれ、自分のスピードで思うように歩けない道。

いきなり目の前で立ち止まる女の子（車のようにブレーキランプやウインカーで止まるときは教えてくれればいいのに……）。

気を抜けば衝突です。

怖いと思うのは、避けきれずにぶつかっても、平気で歩いて行ってしまう人々が多いことです。もしかすると、彼らには私が見えていないのではないかとさえ思います（確かに私は小さいですけれど……）。

黙っていると、怒濤のように押し寄せてくる刺激や情報……。

みんな無意識のうちに、見えていても見えなくし、聞こえていても聞こえないようにシャットアウトして、自分を守る。一種の自己防衛が働いているように私には思えます。

先日、久しぶりに山に出かけました。いつもなら静かな空気に触れてすぐ一息つくのですが、都心の刺激が影響しているためか、なかなか平静な心に戻れませんでした。いらいらしていつまでたつても緊張が解けません。リラックスするのがこんなに難しくなるとは思ってもありませんでした。深呼吸をしたり目をつぶってしばらくじっとしたりして、ようやく鳥の鳴き声や木の葉の音でほっとするようになりました。気持ちいいはずなのにそう感じられない、体の純粹な感覚が鈍ってきているようです。

東京で暮らしていて本当に平気ですか。疲れは残りませんか。

無差別に休む間もなく押し寄せてくる膨大な刺激。無関心、無意識を防衛本能と結びつけて考えてしまうのは、私の思い過ごしなのでしょうか。久しぶりの東京暮らしで、心身が過敏に反応しているのでしょうか。

それではお忙しい時期とは思いますが、お体大切に。

こそ天国。なにをわざわざ好んで汚れたり、手負いになる必要があるの。大切な君だから可愛い幸せなエンジェルでいておくれ」と優しく懇願され自己規制が身につき「習い性」にすらなってしまうている。この種の詭弁は、女たち自身の内なる不安や自信のなさを養分にして力を増し、女たちの無気力と勇気を壊す強力な武器になっていったに違いない。

とまれ時代は確かに動いている。「恋愛小説」にも、そろそろ女性の視点からの発言があってもよいのである——と考えた作家の三枝和子氏は『恋愛小説の陥穽』（青土社）の序で、男性の論理で男性の描いた「恋愛小説」には、どうしても違和感をもつとしたうえで「これは小説の技術云々ではなくて、作者の女性観、男性観、人間観、ひいては世界観にも関わってくる問題なのである。五千年続いた男性優位社会における『恋愛小説』にも、そろそろ女性の視点からの発信があってもよいと考えるのである」と述べ、名だたる文豪を読みとく。面白いのは以前に出た『男流文学論』で上野（千鶴子）・小倉（千加子）富岡（多恵子）の三氏が論じた作家とのダブリが多いことで、これは偶然であって偶然ではない。

序にとりあげた田村俊子の『生血』に触れ、「俊子の特色と意義をあますことなく伝える女性の立場からの正確で鋭い解釈」として駒尺喜美氏を引用する。
★俊子が正当に評価されなかったのは、女性作家を軽く扱うという一般的理由以上に、「女が男と対等の自我を主張し、対等に張り合っていることが、露骨に描かれている」から。

★男女の対立、相剋のなまなましさ、痛痛しさであることへの理解が及ばないで、せいぜい、愛欲、官能の世界と、それをうとましいとする理性との葛藤やいら立ちと受けとめられたに過ぎない。

★自我に目覚めた女にとっては、男と結ばれること自体が、自分の自我が組みしかれることになることを『生血』は書いている。その理不尽さのゆえに、自我の誇りに傷ついた女がキリキリ舞っている姿。女にとって愛とは、常にそうした自己分裂をしられるものである。

女が求めてやまない愛こそが、女を最も深いところで傷つけずにはおかぬ構造は、まことにいたましい。でも、そのいたましさを自覚することから「愛しすぎる病」を克服し、ダブルバインドに陥らないようにしたいものだ。

ダブル・バインド (Double Bind)

奥川 睦

「二重拘束」と訳す。「二重規範 (ダブル・スタンダード)」のあるところ、ダブル・バインドありで、ほとんど一対のように使われる。この二つの言葉にはイメージとして被害者意識がつきまとう危険性がある。また、そういう気配や臭いを感じてしまう人も多いのではないだろうか。

フェミニズムや女性学にひかれるのもこの種の不器用さからだが、ものをまっすぐ見たい、被害者意識にはとらわれたくないと願いの強さも同じ根っこから来ているのだろう。そういう内心じくじたる思いを抱きながらも、まだまだ男と女の間の不条理は深い、と思ってしまう。

新学期から卒業・終業式までの1年間 (正確には夏休み3か月を除いた9か月) whole school year をケンタッキーで過ごすことになった時、送別会を開いてくれた悪友たち (特に男性) の感想は「帰ったらもう居場所はないヨ」「俺なら浮気してやる」「よく許してくれたネ」まで、かなり遠慮のない乱暴なものだった。が、その背後にあるのは、揶揄や皮肉をこめながらも「何と理解のあるダンナ様」「優しいよくできた夫を持って幸せだネー」だった。

単身赴任などで夫は居らず、老親や寝たきりの病人を抱え一人で奮闘している女性はザラにいる。「よくできた奥様ですネ」と、これほど力をこめて誉めそやしてもらえらるだろうか。世話をしてもらえないのを耐えるだけで男は大手柄、女は家事から育児・介護までの大仕事をやって当然、とみなされている。これまさにダブル・スタンダード。そしてそのあおりをくって二重に縛られている (ダブル・バインドされている) のは、まだまだ女たち。

対等で平等なAとBなら、ひっくり返しても同じなはず。規範の二重性も束縛の二重性も存在しえない。でも、まだまだ今の世の中、男と女の立場をひっくり返したら、とんでもない喜劇かグロテスクになってしまう。

男には当然のこととして許され、女には許されないナンテことは、まだまだ多い。特に無意識の領域がこわい。「ガラスの天井」ということばが示すように、一見大空まで広がる無限の空間。実は自由にはばたけないう限られた狭い空間。

「それを狭いと感じるから不幸なんだヨ。見てごらん、頭上にはこんなに広々としたあおい空がひろがっているじゃないか。不満を言いたてるとキリがないヨ。じぶんが不幸になるヨ。自分を幸せにしてやらなくっちゃー」そんなセリフに納得させられてきた。「翔ぼうなんて思うから傷つくんだヨ。この小宇宙

ペルーの女は立ち上がった 12

第四章 農業改革と村の女・山の女 (3)

キヤロル アンドレアス
訳 サンデイ サカモト

ペラスコ政権の女性解放支援とその崩壊

一九七〇年代、ペラスコ政府は、主要な広報機関であつた共産党の勧めで女性解放運動を押し進め、その中で特に地方の女性が置かれた苦境に焦点をおいたが、この運動は長くは続かなかつた。政府の役人は、資本主義の発展につれて、多くの女性が労働力になるであろうと予測していたことは間違いない。だが、この可能性は実現されなかつた。それどころか、賃金労働をしている女性の今日の比率は、産業発展が始まる以前よりも低くなつてゐる。世界的な資本主義景気後退と隷属資本主義（半封建主義・新植民地主義）のもとでの「開発」の特殊な状況は、女性が産業発展に参加するのを難しくしている。

ベラスコ大統領は、女性が仕事場である程度の権利を持つべきだという法令を、初めて発布した。それと同時に、文盲者にも選挙権を与えた。しかし、当時、選挙そのものが実施されていなかった。ので効果はすぐにはみられなかった。

ボランティアで構成される政府事務所が、女性の一般的教育計画を作成するためにつくられた。国連の後援で、社会学者が、農地改革のもとの女性の地位向上を評価するため、地方へ送られた。しかし、調査結果の公表は禁止され、すべてのプログラムは一九七五年、ベラスコ政権の崩壊とともに終止符を打った。男女の平等を呼びかけている小冊子や資料も撤収された。しかしこの時代の遺産として、左翼政党は、かつて討論されたことのなかった女性解放問題を討論し始めた。⁶¹⁾

政府による女性のための改革推進は、私がワンカヨの中央国立大学 (the Universidad Nacional del Centro in Huancayo) で教えた時期 (一九七四年) とちょうど重なった。私が来る一年前に、学生は社会学のカリキュラムを完全にマスターし、米国情報サービス (U S I S) から与えられる資料の使用を止めるよう要求した。彼らはマルクス主義を中心に教えるよう主張した。学生組織は、北米人 (米国人とカナダ人) は社会学教職員から除外されるべきだと要求していたが、私の場合、チリでの経験があつたので受け入れられた。学生たち自身が率先して私の採用を決定したのであった。女性解放を唱えながら、何一つ女性の基本的状況を改善しなかった政府のプログラムと政策を、学生たちは批判した。しかし、政府が女性に注目していたということ自体が、それに少しでも影響を受けた学生や他の人々にとってはある種の挑戦であつた。私は女性学としての特別コースを設けることはできなかったが、地方での女性や社会変革についての研究を紹介することはできた。⁶²⁾ 女子学生の中には、大学外で女性学や活動グループをつくった人たちもいた。学生組織は何百人もの人を

集めて、女性と社会革命フォーラムを後援した。一九七五年以降、学生運動は鎮圧されてきた。大学教育は以前のように米国に支配されるようになったわけではないが、カリキュラムは、いつそう保守派に管理されるようになっていた。⁵³⁾

NGOによる民衆教育

軍事政府の第一期が終わり、農民のための政府主催講座やサービスは打ち切られたり、非常に制限された。しかし、進歩的西欧人によって資金援助を受けた、非政府組織（NGO）が農民のための研究や技術アドバイザーなどの仕事を率先してやった。これらの職員の大部分は、社会民主主義者、左翼や元公務員のペルー人からなっていた。コミュニティの先住民がこのようなプロジェクトを呼びかけた。アドバイザーは官僚にあまり制限されず、また以前の政府よりもずっと農民に受け入れられていた。一番重要なのは、公的政策に反対や批判ができた点だった。危険を承知でやったのだが、政府は批判に対してさらに敵意を示すようになった。

この時期、民衆運動を支える約二百ものセンターが（多くは地方にだが）全国的にできた。このセンターの職員は住民と一緒に働いた。それ以後は、これらの住民は外からの支援なしに運動を続けることを期待されていた。そのような住民（練習生）は、政府練習生と同じようにプロモトラス（練習生）と呼ばれた。民衆教育プロジェクトに参加した都市の女性たちは、「現代的」アイデアを押し付けずに、住民から学ぶという方法で、地方のプロモトラスと一緒に働き始めた。

外国の大学から来た栄養学の学位を持つセンターのある職員は、インディオ女性の栄養のバラン

スを理解するには、気候、標高、気温、調理方法、個人の健康状態すべてが重要であるということとを、農民から学ぶことができた。そこで、彼女は、老いた農婦が自分たちの栄養学、医学、避妊の知識を組織的に記録できるようにするために手伝い始めた。この知識とヨーロッパでの正式な教育から学んだことを一緒にして、彼女は女性たちに読み書きを教えながら、同時に、女性たち自身が教育資料を準備できるように手助けをした。このようにして、その地域の女たちは外国から輸入される害のある食物や薬を見分けることを学ぶことができた。⁶⁴⁾

このような民衆教育計画を通して、地方の女性は、自分たち自身の置かれてきた状況を歴史的に評価し、必要に応じて農業技術と他の技術を発展させるようにと励まされた。こうして、女性の伝統的な種の選択と園芸技術は合法的に認められた。民衆教育家は、長期的目標である自然資料の保存を犠牲にしてまで、目先の利益を目的とする企業の手助けをする必要がなかった。そのため、民衆教育プロジェクトでは、自然肥料と自然方法を使用して害虫コントロールの実験をすることができた。言うまでもなく、学習の目的がはつきりしない地方の教育プログラムに関わった時よりも、女性はこのようなプロジェクトにずっと熱心だった。政府プロモトラスは、女性が教育には興味がないと諦めることが多かったし、教育自体に反対でもあった。しかし女性たちは、民衆教育を通して互いに役に立つ知識を分かち合っただけでなく、新しい知識を得、そして自尊心や政治的意識を高めることができた。

虐殺されたトリビア フロレス

民衆教育は、農婦が将来のコミュニティリーダーシップをとれるようにするのに効果があつたが、多くの女性には届かず、それ自身地方に進歩的な社会変革をもたらすような状況をつくりえなかつた。それどころか、教育は明らかにそのような変革への障害になつた。市当局はしばしば貧しい農民の利益を守るコミュニティアドバイザーと衝突した。実験的教育プロジェクトの職員は、その活動によつて商業的利益を脅かされた人々の手で迫害された。企業家は彼らを追い出したり、逮捕したりしようとした。

一九七〇年代末まで、地方の経済復興政策は、政府によつて極秘に支えられた。

それによつて農民の自給自足を推進しようとする試みは反政府活動と見なされることになつた。

また先住民コミュニティの土地を誰が奪おうとしても寛大に扱われた（これに関しては、モラレスベルムデス政府も後に政權をとつたベラウンデ政府も同じ政策をとつた）。

だが、侵略に反対するコミュニティの人々は罰せられた。開発者の侵略に対して抗議したクスコの女性トリビアフロレスは虐殺され、彼女は地方女性指導者のシンボルになつた。彼女はコミュニティの防衛長官として知られており、雄弁なため全国の農民を激励してきた。一九八一年の六月、国道の交通をストップするため座り込んでいた農民を動員中、彼女は撃たれ、殺されたのだつた。

自然資源と労働力の収奪

地方での資本主義発展を促すために、土地を個人所有化することを政府が支援したのは、ペルー経済が外国資本に依存していることも関係していた。ベラウンデ政府は、外国の援助を受け入れ

ることは、多額の負債がある政府にとって望ましいと宣言した。一九八〇年代に、ペルーでは外国の援助を受け入れるための道を大々的に準備するために、米国援助プログラムが推し進められた。

民衆教育プロジェクトの職員と比べると、米国援助職員は地方の歴史や習慣を尊重するようなことはほとんどなかった。これはただ単に無知だったからではなく、まさに、援助の目的が農民を多国籍企業時代の「モダンエイジ」に取り込むためのものであったからだ。民衆の技術が必要であると地方の人々に迫られ承認せざるをえなくなつたところでは、それが多国籍企業自身の戦略の範囲内で便宜を図ることができ「中間技術」のようなものになつていった。

マンタロ流域では、米国企業による農業、化学肥料工場への投資が重要になつていった。これらの工場は、マンタロ川でしばらく操業を続けていた水力発電所の電氣の使用許可をもらつていた。電氣は、主にリマから数百マイルあたりまでしか行きわたらず、何年もマンタロ流域の農民は電氣の使用許可を求めていたが成功しなかつた。

そのような経験から、農民たちは政府と多国籍企業が関心をもっているのは、農民へのサービスではなく、自然資源と労働力の収奪にあるということを学んだ。企業はただ単に労働者が生産管理できないようにするだけではなく、生産物から受けるあらゆる恩恵を取り除こうとする。もちろん、もつとも顕著な例としては、炭坑会社や、地方に公害をもたらしただけで、その地域の人々に有益な物を何も生産しなかつたという例がある。しかし、生産がペルー市場に合うよう調整されている所でさえも、状況は同じだ。⁶⁵ カーネーションミルクやネススルなどの米国企業による乳製品産業の独占は、このような過程の一例にすぎない。ネススルコーヒーはカハマルカで、カーネーションミルクはアレキパで生産される。政府援助は、これらの会社が損害を被らないように守る。そ

の結果、新鮮な牛乳は生産地でも消費者に渡らず、農民は缶牛乳を買うことさえできなくなってしまう。援助はまた、税金が国外に出ることを意味し、外国への技術依存は拡大するばかりだ。牛乳を缶詰にする過程はとも高くつき、輸入された粉ミルクのほうが安くなってしまう。この結果、乳製品の生産は減少した。同様に北米の会社は養鶏産業も独占するに至った。大量生産された「近代」鶏肉（管理された環境で、無制限の量のホルモンを混ぜた餌で急速に育てられた）は高額で、主にレストランでしか食べられず、その結果、全体として地方の鶏肉の消費量が減ってしまった。

女性の無給の農業労働が、経済に重要な役割を果たしていた山岳地帯では、女性はめつたに多国籍企業に組み入れられることはなかった。しかし後には、彼女たちは町へ次々と流れて行き、工場です仕事についた人々の性的欲求や物質的要求を満たすために、売春婦や露店商をして路上で働くことになった。

宣教師がサポートした資本主義

インディオの女性の持つていた特別な職人的技術に、外国投資家が目をつけなかったわけではなかった。プロテスタント宣教師は、農民をプロテスタント福音主義（新教）信仰に帰依させる努力の一端として、このような技術による生産物を市場に出せるように努力した。福音主義化と商業化活動は、コミュニティの中でも階級分裂の過程を急速に早める傾向にあった。宣教師の活動に影響を受けやすい家族は、コミュニティの中でも特権階級になることに憧れた。男性コミュニティメンバーは市役所で働くことも多く、商業利益を操作することができるようになったが、それは、先

住民のコミュニティ文化を弱める結果となった。こうして伝統的祭りであるフイエスタも、農民同士の連帯を表現するのではなく、個人的地位を宣伝し確立するのに使われるようになった。女性の教育は奨励されたが、宣教師にとつて女性に適していると思われる分野内での課題やテーマでのみ女性の教育が行なわれた。宣教師の存在によつて、信者は宣教師が使う商品を使いたいと思うようになった。また力のある農民が、そのような品物を買つて見せびらかすこともあった。宣教師の存在は、必然的に、より大きいコミュニティを犠牲にして個人や家族を資本主義システムに組み込むことを余儀なくしている。⁵⁶⁾

資本主義が発展するにつれて先住民コミュニティはさまざまな方法で攻撃され、先住民の人々が伝統的に行なつてきた物々交換や相互援助の習慣は、遅れている証拠として見下された。例えば、私が教えていたワンカヨの社会学の授業の学生全員が、名声のある者はコミュニティの仕事をしなと口を揃えて言つたことでもわかる。⁵⁷⁾興味深いことに、学生たちは最初、コミュニティの階級分断について話すのを嫌がつていた。というのはそうすることによつて、コミュニティにおける彼ら自身の特権的地位が明らかに、社会革命を望んでいると公言しても、その矛盾が浮き彫りにされてしまうからであつた。

新しいコミュニティづくり

各地の先住民コミュニティの中には、数人の労働力を収奪できるような農民はほんの少ししかいなかった。それを学者たちは時々「ブルジョワの出現」と呼んだ。大多数は自給自足の生活をして

いたが、他の者たちは、パート労働をせざるをえなかった。農地改革のもとで大地主の土地を没収したこと、そしてその土地を協同組合に転化したことによつて、これらの改革に関与した農民は再統一されたが、他の多くの人々は農地改革の恩恵をまったく受けなかった。

一九七〇年代末期までに、資本主義発展の影響下にあつた地方の女たちは、夫と子どもが移住することによつて影響を受け、正式にはないが、時によつて、意識的にコミュニティでの労働、相互援助、生産物の交換などの相互関係を再びつくりだすために、女たちはコミュニティを組織し始めた。ほとんどの農民が不可能と考へていたように、完全に自給自足だけで生き残ろうとして、女たちはコミュニティを組織したわけではなかった。インディオの女たちは、自分たちの組織を社会変革のためのものにするには、より広範囲に活動を組織し、活発な政治活動を通して男性の協力を得なければならないことを知つていた。

〔注〕

51. この頃、同じような出来事が世界で起こつていた。これは明らかに北米の運動の影響を受けてリマで起こつたこととで、政府のプログラムともかわつていたことに間違いないが、一九七三年頃から、独立したフェミニスト組織ができた。このことによつて教育を受けた女性の小さな団体が自分たちの問題を討議することができるようになり、メディアの中で女性が対象物として扱われているということ、法律上の女性の第二次的地位、中絶や避妊などのリプロダクティブ問題などに注意を向けるよう社会に呼びかけることができた。しかし、そのようなグループは経済危機とともに、活発でなくなつたが、景気交替に刺激された政治組織に参加していた女性は、同時にフェミニストの見地から政治参加を考え始めた。フェミニズムの「第二のステージ」の特色は、政府政策に

抗議するためにつくられたスラムコミュニティや民衆組織の活動を組織することにある。

52. この頃はまだ、公立の学校では女性学は教えられていなかった。しかし、リマのカトリック大学では、一九八〇年にそのようなコースが教えられ始めた。

53. 申し合わせたようにペルーの左翼系学者が攻撃され、社会科学学部を閉めなくてはならなくなることが多かった。今日、ほとんどの社会学者は分析のためにマルクス主義の枠組みを利用している。

54. 米国後援の「学養学」研究では限度を超えた食事療法の実験に孤児の子どもたちが飢餓状態になるまで使われた。そのため、先住民コミュニティのメンバーはこの事実を暴露した。このメンバーは次のように言った。「生きるため、また生産能力を保つために最低限どのくらいの食糧が必要であるかを調べるために、このような研究が行なわれてきた。この実験に使われてきた人々がどのくらいの損害を受けたかを調べるような研究がなされたことはない」

55. このような一番大きな鉱山は補償と引換えに政府に取り上げられた。環境は破壊され放題だったが、鉱物の輸出はつづいた。新しい有利な鉱山業は外国所有だ。

56. 先住民コミュニティの宣教師の活動の影響についての情報は、Oscar Nunezdel Prado, Kuyo Chicoを見てください。かつては楽しい出来事だった植林や運河、道路などの建設は、新しい形の奴隷労働になった。裕福なコミュニティのメンバーはわずかな金を払ったり、トラクタの使用を許可したりして労働をするのを避けた。教会や市政府は時々個人的な利益のために仕事を指示することもできた。しかし、マンタロ溪谷に住んでいた頃、私は年とつた女性たちが共同作業の日をどんなに大切にしていたかに気がついた。

地方選——女性候補者ががんばりました

おめでとう！

残念でしたが……

〔会員〕

●大河みとこさん（東京都調布市議）

●横田悦子さん（岡山市議）

●山本ひとみさん（東京都武蔵野市議）

共に初挑戦でみこと当選。

●小野紀美子さん（東京都新宿区議）

●藤田一枝さん（福岡県議）

共に再選。これからの活躍がますます

たのしみです。

〔会員が推した方〕

●寺尾恵子さん（大阪府吹田市議）

●豊島みちさん（愛媛県今治市議）

初挑戦で初当選。

●富沢よし子さん（東京都杉並区議）

●永井よし子さん（東京都文京区議）

再選を、共にとびぬけた好成績で……。

●阿部悦子さん（愛媛県議）

愛媛県初の女性県会議員の誕生は、わずか一四〇票で次点の憂き目に会いました。知名度、行動力、実績——どれをとつても申し分のない阿部さんだけに残念でしたが、そのパワーで、新人豊島みちさんを、三三名中一〇位という堂々たる成績で、今治市議に送り出すことができました。これからの四年間、人の輪を大切に、力いつばい活躍なさることでしょう。

（奥川 睦）

●中山やす子さん（名古屋市中北区）

次点で惜敗でした。女性問題では誰一人知らない人はいない中山さん。そのさわやかな姿勢に、選挙中もファンがどんどんふえましたが、地元の中北区では知る人が少なく、ほんとうに残念でした。小さな選挙区では、金権と、地域密着度が重要なことを改めて思い知りました。衆議院でも、小選挙区では、女はほんとに出にくいでしょうね。選挙制度の問題を、改めてみんなで考えたいと思います。

感心したのは中山さんの態度。おつれあい「ありがたい」と。わたし、一度、選挙というものに出てみたかったの。実力もなかったのに——

そして残念パーティーの席上、そのおつれあいは「母ちゃん愛してるゾ」と大声で。みんな大感激でした。

（高橋ますみ）

〔205号〕

◆あこら「阪神大震災」一気に読みました。関西出身の私は、震災に関するあらゆる記事を読みましたが、この「あこら」でやっと充足感を得た感じがです。人間的な視点に立つての報道には程遠いマスコミ連中。弱者をさらに弱者に追いやる極限の状況は、プラウソ管を通じてでは、絶対にわからない。もう一つ腹が立ったのは、企業の自社の社員だけに救援活動が行われたのに非常に評価されたこと。大手の社員は社宅やホテルを優先的に与えられたという。「頼りになる会社」に属していない人はどんな思いだったろう。美談ばかり報じられる中、被災者の中の明暗が、今後ますます広がっていくと懸念される。震災翌日の交通渋滞も、我々のエゴが招いたもの。大阪では買

いだめによる品不足もあつた模様。

「自分だけ助かれば」の人は、行政を批判する資格もない。都市機能や経済はもちろん、改めて自分の生きざまを根底から揺さぶられた出来事でした。

（名古屋市 東倉啓子）

*

◆「阪神大震災」号を一読して感動致しました。優しさのパワーあふれる皆様の様子に胸を熱くし、わずかな協力しかできないことを恥ずかしく思います。今は自分の置かれた状況の中でやることをやるしかありませんが、いつか皆様の集まりに参加させて頂きたいと思っています。これからも頑張ってください。

（埼玉県 栗田美智子）

*

◆「阪神大震災」特集号の代金とカンパです。わずかですが、支援活動費の

タシにして下さい。

（川崎市 井上輝子）

*

◆いつものことながら会費が遅くなりましてすみません。お手数ですが、205号を三冊お送り下さいませ。

（柏市 高橋妙子）

*

◆阪神大震災特集号二十冊申し込みます。別途、テレホンカード二十枚送りました。ボランティアの皆さんのお役に立てば幸いです。編集部の方で御使用いただいてもよいかと思ひますのでお任せします。

（石狩郡 佐々木春代）

*

◆留守をしておりましたので振込がおそくなり申し訳ありません。カンパとして気持ちだけ余分に加えさせていた

だきます。(神奈川県 植田理都子)

*

◆震災を「有事」と捉えたのは(あこら)のみではなかったか。斎藤さんの難民、地方在権、創生、救助犬、世界県日本村の視点は実に興味深いものがあつた。二十年間、私がなぜ(あこら)の講読をやめなかったかの理由を見た気がした。(鳥取市 前田 亨子)

*

◆何もできませんが、特集号を配りますので、送料をふくめた範囲で送ってください。平和への視点でまとめた斎藤さんの現地報告、添える言葉を失い身を縮めて読みました。

(浦和市 深田範子)

*

◆205号二万円分送って下さい。なにとぞよろしく。女たちの動きがもつともっと活発になるよう広げたいものです。(群馬県 西山美津代)

◆少額ながら(あこら)の被災の方々へ然るべくお願い申し上げます。まことに心持ちだけのことでございます。本は一冊頂くだけで結構でございます。

(東京都 竹内 富)

*

◆経済的に苦しい中でいい本をつくり続けている(あこら)に頭の下がる思いです。これからも頑張ってください。

(東京都 古賀節子)

【ひつじ】

◆今年もまた女性の地位向上に向けて一歩でも前へ歩み出そうと思います。編集部の皆様も頑張ってください。

(新潟市 志苦純子)

*

◆運営、ご苦勞様です。毎号充実！面白く拝読しています。終戦五十周年の年、私たちが(戦時下勤労働員少女の会)の全国の記録集をすませ、編集

も完成に向けて頑張っています。

(府中市 滝島典子)

*

◆一月二七日の講座「北京会議への道」に参加させていただき、二月一日新宿区で斎藤先生より静かな語り口のなかに、内に情熱を秘めたすばらしいお話を伺いました。NGOフォーラムが少し見えてきましたとても参考になりました。ありがとうございます。

(新宿区 北村文子)

*

◆昨年はテープおこしの講座でお世話になりました。ものにならなかったけれど、よい勉強をさせて頂きました。今年はずっと氣を入れて「あこら」を読みます。どうぞよろしく。

(柏市 森井美沙)

*

◆何度履歴書を出しても返されどおしいまだに無職です。早く職につきたい

い。自分がこんな状況になつて初めて雇用の場で差別を受ける女性の気持ちご理解できるようにするとは何たる皮肉なんでしょう。(福岡県 谷 和美)

*

◆今朝の中国新聞に斎藤様のことが出ておりました。ご病氣と伺つて心配しておりましたのに、お元気で相変わらずのご活躍、地方の果ての旧友として大変嬉しく存じます。今後ともご活躍を祈念申し上げます。僅かですが、本代の穴埋めにして下さい。

(竹原市 中谷明子)

*

◆とりあえず会費とカンパお送りします。先日は都知事選の件で斎藤様ご苦勞さまでした。いずれにしろ都知事選四人のうち誰か反石原でということであれば最有力候補の青島様でも大賛成です。うかるといいですね。五月に神戸へ一か月くらいボランティアに行つ

てきます。(大宮市 遠藤むら子)

*

◆恵比寿にあるポーランド大使館へ行った時や、へを勝手に励ます会に参加した時、「霞が関」の地下鉄を昇つて行つた時の事を思い出して、「サリン事件」を、我が事に感じます。ボランティアの心を育てていつて、日本の世の中を風通しよくしたいのですが……。

吹田市で行政参加、へ市民いきいきネットワークへ応援、寺尾恵子さんが出馬するそうです。明るいニュースです。(吹田市 吉田悠子)

*

◆友人と二人で女性問題の視点をベースに子育て相談活動をしているのですが、先の阪神大震災の折は、小さな子どもたちに有形無形の影響が見られました。

高層住宅に住むAちゃんは、しばらく

く祖父母宅に避難し、家の中がすっかり片づいた家に帰ったとき、おびえてイヤイヤと泣きだし、その日はまた祖父母のところに戻り、気持ちがおちつくまでずいぶん時間がかかったそうです。ほんの一例ですが、大阪の子どもでこんなのですから、ご当地では……と思うと、想像を絶するものがありました。ほんとうに心が痛かったです。

私たちにできることをしたいと思ひ、さつそく子どもと遊んだり、乳幼児の一時保育、子育て中のお母さんのサポートをしたいと申し出、現地に出席しました。惨事を目のあたりにし、私たちの無力さを知らされました。

へカウンセリング・ボランティアグループでも、私たちは力もお金もないけれど、お話の聞き役、はけ口、グチや怒りのこみ箱役ぐらいならできるとは提案したところ、現地入りして下さった指導者の先生がコーディネート

１ターとなつて、神戸市中央区役所を拠点に、学生ボランティアたちと連携プレーで「ハートほぐし隊」の活動が始まりました。

茫然、嘆き、怒りの時期を経て、今自立へむけてのサポート活動が展開されていますが、問題もたくさん出てきました。どうかかわればいいのか……。

選挙も、私たちの活動も、ボランティアも、やること一杯で、それだけでも精一杯だったところに、二人とも老親がそれぞれに緊急入院という事態が発生し、おまけに相棒も持病があり調子をくずし、私も二年前にガンの手術をしてから体力が減退し、無理がきか

会員 田中寿美子さん逝去

久しくご療養中でしたが、3月15日午前8時、逝去されました。

女性運動の先頭に立ち、へあごら〜を長い間温かく見守ってくださいました。心からおくやみ申し上げます。

なくなり、そしてこの時期アレルギーで医者通いと八方ふさがりになりました。活動は縮小ですが、めげずに、やれること、大事なことを選んでやっていきたいと思っています。

選挙の活動は、今一人でも多くの人に声かけをし、支援者を広げていかなければいけないのですが、これがほんとうにむずかしいです。

へあごら〜でとりあげていただくことで、遠方の方でもお知り合いの方々に呼びかけていただけるのではないかと、淡い期待をもっています。

私たちの子育て相談のキャッチフレーズの一つが「共育ち」なのですが、選挙活動を通して、みんなで共育ちをしていきたい。前向きに楽しくやれたらと思っています。

きびしい状況、苦しい闘いですが、がんばります。ご支援下さい。

(吹田市 小谷訓子)

*

◆あきらめ眠れる市民が過半数です。あきらめないで！ ねむらないで！
これまで、こつこつ積み上げてきた私たちの確実な力、願いを発揮したい。それが、この選挙です。

(吹田市 寺尾恵子)

〔編集後記〕

◆東京・大阪に無党派知事誕生、地方選で女性進出と、うれしいニュースにホッとするひまもなく、毎日、毎夜オウムの間こえぬ日はありません。さまざまなご感想、ぜひお寄せください。マスコミにはのらないミディコミならではの声をのせ続けます。(え)

◆組版完了という時、北京会議会場変更のニュースが入りました。その結論を掲載したいと、ぎりぎりまで発行を遅らせました。定時発行が遅れましたことをおわびします。(わ)

あごら 207号 ●発行 1995年5月10日

●編集 あごら編集部

●発行所 BOC出版部 〒160 東京都新宿区新宿1-9-4-303

●TEL 03-3354-3941 ●FAX 03-3354-9014 ●振替00100-0-5264

●発行人 あごら企画会議 定価 883円(857円+税26円)

この ひろい宇宙に
たった一つの地球

その 大きな地球に
たった一人のわたし
そして あなた

かけがえのない地球
かけがえのないわたし

かけがえのないあなただから
たいせつに たいせつに しよう

あなたも
わたしも

地球も

たった一度きりの人生だから

思いきり

のびやかに生きよう

だれもが だれをも

ふみしだくことなく

胸の底まで深く息をし

ああ 生きててよかったねと

ほほえみあえる地球にしよう

へあごら

人と人の出会うひろば

へあごら

人と人の共に生きるひろば